

42800

教科書文庫

4
290
41-1920
200030
1542

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

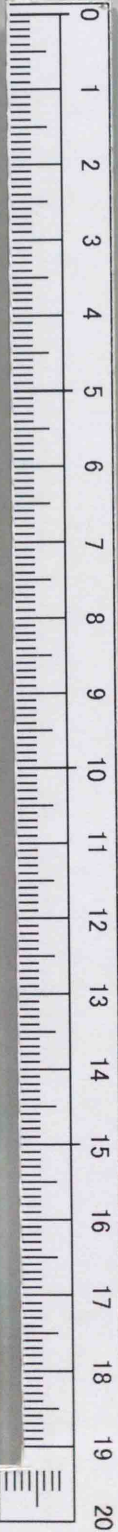
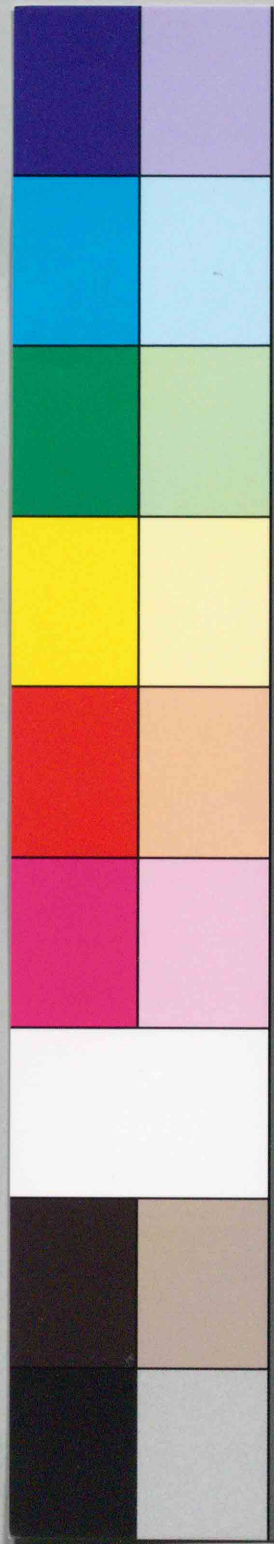
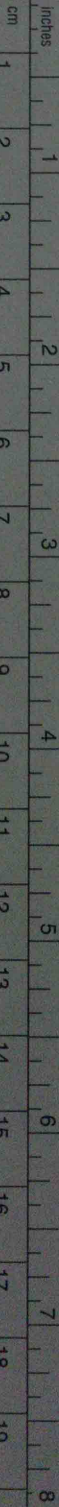


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科  
41  
200

普通教育  
世界地理教科書

(卷上)



・ 著方直崎山 士博學理 ・

◻ 社 會 式 株 ◻  
◻ 館 成 開 京 東 ◻

375.3  
Yal3  
資料室





375.9  
Ya13

普通教育 世界地理教科書 補訂事項

上 卷

- 六六頁 上欄 ランゲンに我總領事館の分館あり。
- 七三 上欄 ダヴァオに我總領事館の分館あり。
- 八五 上欄 アルメニヤは獨立共和國となれり。
- 八五 上欄 小アジアは依然トルコ領にして、唯スミルナ附近の地は數年の後住民投票により歸屬確定せらるべし。
- 八八 七行 パレスチナはイギリスの保護の下に獨立國とならんとす。
- 九六 六 サハリン州は樺太島の北半及び其對岸の黒龍江下流地方を含む。
- 一〇〇 上欄 ウスリ鐵道の大部分及び黒龍鐵道の全部は日本<sub>二</sub>の管理を脱す。
- 一〇一 二
- 一〇一 三 大正九年ニコライエフスクに於て我國人七百餘名バルチザンのために虐殺せらる、よりに

中 卷

- 一〇三 上欄 オムスクの全ロシア政府は解散、同地の我領事館は閉鎖
- 一〇四 上欄 外コーカシヤには東部にアゼルバイジャン、中部以西にジョルジヤの二獨立共和國興れり、バクーは前者、チフリスは後者の首府なり。
- 二六頁 四行 エストニヤ共和國はレヴァルを其首府とす、此國の南にはラトヴィヤ、リツアニヤの二共和國興れり、リガは前者、ヴィルナは後者の首府なり。
- 三二 一〇 シレスウイヒの大部分は住民投票の結果デン
- 四三 八 マルクに屬するに至れり。
- 四三 上欄 ベルリンに我大使館あり。







一〇一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

2000301542

文部省検定  
 大正九年二月十八日  
 東京帝大教授  
 東京高等師範學校教授  
 理學博士

# 普通教育 世界地理教科書

[ 卷 上 ]

東京帝大教授  
 東京高等師範學校教授  
 理學博士  
**山崎直方**  
 著



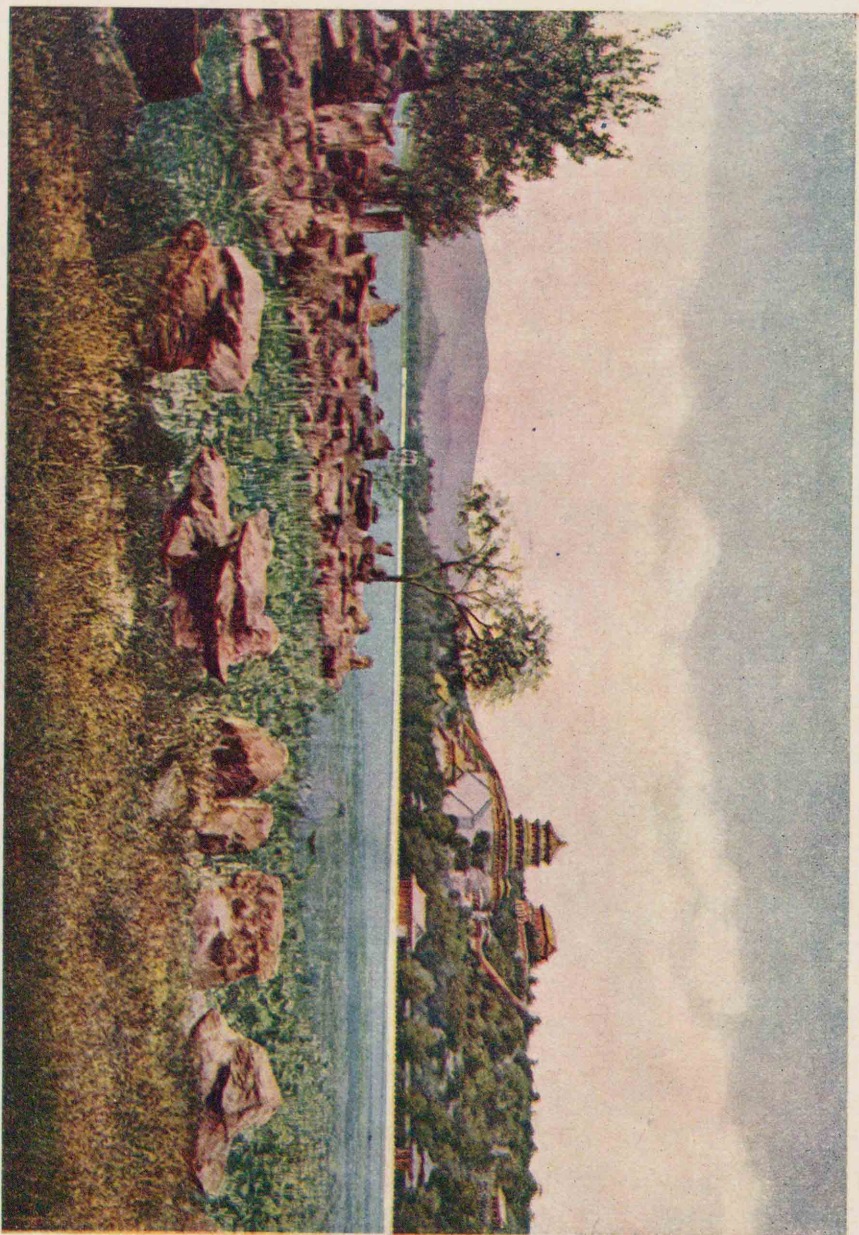
株式會社  
**東京開成館**  
 藏版

広島大学図書  
 2000301542

資料室

375.9  
 Ya13





北郊外の頤和園と昆明湖

廣島大學  
圖書印

廣島大學  
教  
24216  
圖書



## 訂正十六版例言

本書は「普通教育」日本地理教科書の後を承け、世界地理を説きたるものにして、「普通教育」地理學通論と相俟つて、中等學校地理教科書の體系を成すものなり。

本書の編纂及び改修に當りて、特に意を用ひたる點は凡そ次の如し。

- 一、挿圖、圖式等は精選を加へ、斬新にして特色あるものを選び、且勉めてこれを豊富にせり、又各大陸の斷面圖を掲げ、地形に關する理會を容易ならしめんことを期せり。
- 一、地名、人名等の書き方及び讀み方は、主として史學會の調査表に據れり。
- 一、記述上常に我國の狀勢を以て比較の基礎となし、且主な



る邦國につきては、特に項を設けて我國との關係を記叙し、又彼我の貿易の表を挿入せり。

一、本文所載のものに次いで重要な事項を罫頭に記載し、教師敷衍の資料に供せり。

一、卷末に索引を附録して、地名其他の稱呼のローマ字及び漢字の書き方を示したり。

一、本書の教授に必要な地圖類は、本書附屬の「普通教育」世界地圖に輯録せるが故に、本書には多く地圖を掲げず。

曩に大正六年第十五版を刊行してより日猶淺きも、既に改訂の止むを得ざるものあり。殊に世界大戰漸く終り、新に國家の建設せられたるもの、境域の變更を來せるもの、植民地主權の移動せるもの一再にして止らず。乃ち最新の調査により著しく改訂を施し爰に第十六版を公にす。

同時に本書附屬の「普通教育」世界地圖にも大修正を加へ、以て本書と併用して、世界の現勢を知るに於て遺憾なきを期せり。

大正八年十一月

著者 識



普通 世界地理教科書 上卷 目次

前編 滿洲

第一章 關東州……………一頁

第二章 滿洲……………五

第一編 アジヤ

第一章 總論

一 地文……………一四

二 人文……………二二

第二章 東部アジヤ

支那……………二九

其一 支那本部……………四〇

其二 蒙古……………五二

其三 新疆省(伊犁)……………五四

其四 青海……………五五



其五 チベット(西藏)……………五五

第三章 南部アジヤ

一 インドシナ半島……………六〇

其一 フランス領インドシナ……………六一

其二 シヤム……………六三

其三 イギリス領インドシナ……………六五

二 マライ諸島……………六八

三 インド(印度)……………七三

第四章 西部アジヤ

一 イラン地方……………八二

二 アジャトルコ……………八四

三 アラビヤ……………八八

第五章 北部アジヤ並に西部アジヤの一部

アジャロシヤ……………九一

其一 シベリヤ……………九一

其二 中央アジヤ……………一〇一

附録索引

其三 コーカシヤ……………一〇四



漢書大學  
圖書之印

普通 世界地理教科書 上卷

理學博士 山崎直方 著

前編 滿洲

第一章 關東州(日本租借地)

●**地文。** 關東州は支那滿洲の西南部に位せる遼東半島の南部を占め、東南は黃海に、西北は渤海灣ボホに面し、南は直隸海峽を隔てて、支那の山東半島に對す。面積我伊豆半島の二倍に等し。

海洋島附近は我海軍が曾て支那の艦隊を撃破せし處なり。

面積二百十九方里。

地形丘陵に富みて、平野に乏しく、河川の著しきものなし。海岸は出入多く、大連灣は南より、金州灣は西北より彎入して、金州地峽をなす。半島の南端に近く旅順港あり。東方の海上には長山列島横はりて、海洋島其東端に位す。氣候は、寒



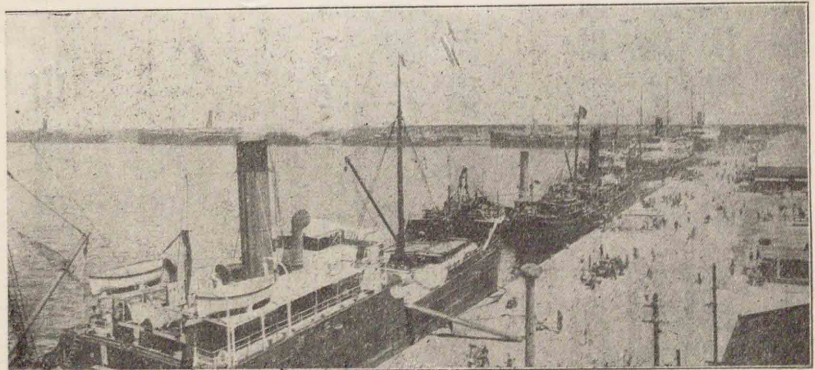
海岸は概ね遠淺にして干潟廣く、且空氣乾燥して蒸發力に富めるが故に、天日製鹽盛に行はる。

關東州には又關東軍司令官を置き、關東州の防備を掌らしむ。



暑の差甚しく、冬季海水の凍結する處あり。雨量は初夏の雨季を除きては一般に少し。

●人文。我國は此地方を支那より租借し、關東廳を置き、關東長官を任じて、行政を統べしめ、其下に旅順、大連、金州の三民政署を置きて、各管内の政務を行はしむ。人口約七



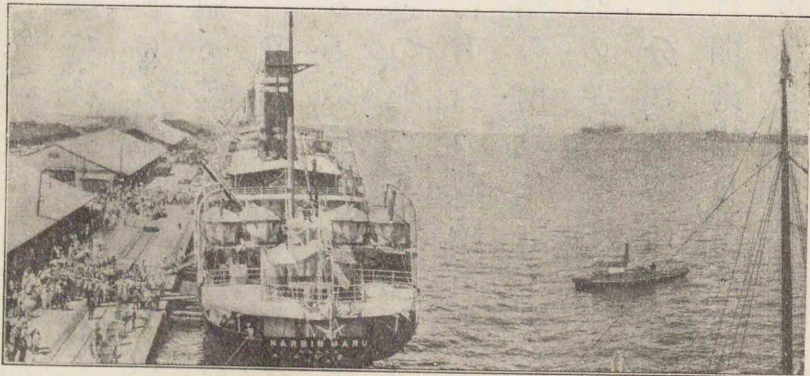
大連埠頭 (其一)

大連は門司を距ること約六百四十海里、航海二晝夜を要す。

十萬、其大部分は支那人にして、我國人は十萬に近し。沿海には漁業製鹽業行はれ、陸には玉黍蜀、高粱、大豆を産し、又豆糟、豆油を造る。

鐵道は我南滿洲鐵道會社の經營せる線路ありて、大連より起り、東北に進みて、滿洲の南部を貫き、又支線を旅順に分つ。汽船は大連を起點として、我内地、朝鮮及び支那の諸港との間に數多の航路を有せり。

●地方誌。大連市は大連灣に臨める開港場にして、滿洲の重要なる門戸をなす。市街は道路廣濶にして、宏

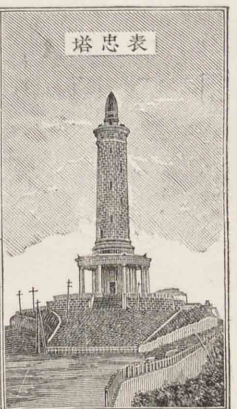


大連埠頭 (其二)



大連には數多の油房ありて、盛に豆油、豆糟を製す。

表忠塔は旅順の白玉山頂にあり。明治三十七八年戰役に於ける我戰死者を記念す。  
明治三十七年我艦隊は旅順港の東南沖合に於てロシアの艦隊を撃破せり。



表忠塔



東鷄冠山の戰蹟

壯なる建築多し。港灣の設備も亦よく整ひ、大豆、豆糟、豆油、黍等を輸出し、我内地よりは綿布、綿絲、麻袋、砂糖等を輸入す。南滿洲鐵道會社、此地にありて、滿洲に於ける鐵道、鑛山、其他各種の經營を勉め、其發展大に見るべきものあり。我國人の此市街及び附近に住するもの三萬を超ゆ。  
金州は大連の北にありて、金州灣に面し、附近に南山の戰蹟あり。旅順市は關東州の南端に近く、丘陵、港灣を包み、天然の要害をなす。港は東西の二部に分れ、東港は海軍要港にして、西港は開港場なり。此地は明治の二大戰役に、壯烈なる戰爭あり

し處にて、二百三高地、東鷄冠山等の名大に著る。關東廳高等法院、工科學堂等此地にあり。

④ 關東州と日本。關東州はもとロシアの租借地たりし處にして、ロシアは旅順の軍港を修め、要塞の備を嚴にし、大連に築港して新市街を興し、本國との間に鐵道を連絡して、其勢威東亞を壓せんとしたりき。然るに明治三十七八年戰役の後、我國はロシアに代りて、支那より之を租借するに至れり。

第二章 滿洲

● 地文。滿洲は支那の東北部に位し、奉天、吉林、黑龍江の三省より成り、一に東三省と稱せらる。北はシベリヤに境し、東南の一部は我朝鮮に連り、南部は遼東半島をなし、遼東灣

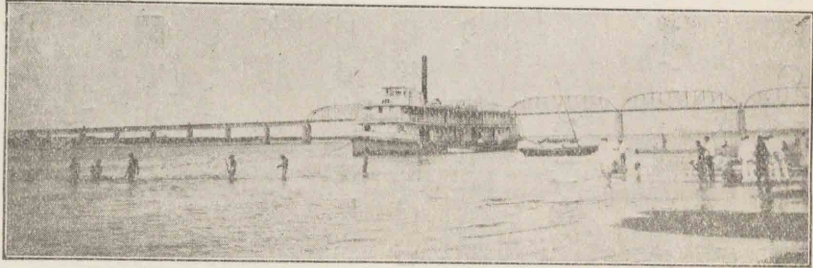
此州の租借は、西曆千九百九十七年を以て期限とす。



面積約六萬方里。

南滿洲には夏季山東半島より出稼苦力の入込むもの夥し。

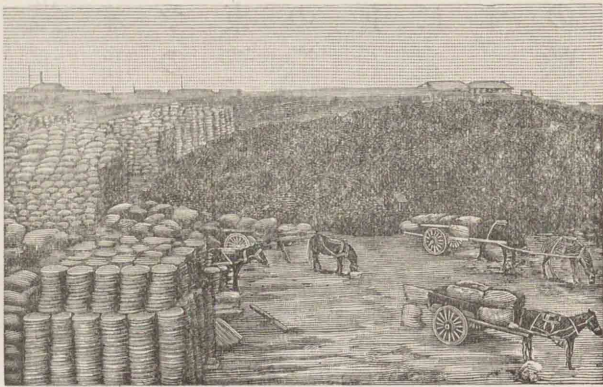
哈爾濱より見たる松花江



を抱く。面積殆ど我國の一倍半あり。西部には興安嶺あり、東南部には長白山脈、本幹山脈あり。長白山脈には朝鮮との境に白頭山の火山峙ち、其附近は廣大なる熔岩臺地をなし、森林極めて深し。北滿洲には松花江ありて、嫩江の大支流を併せ、南滿洲には遼河ありて、何れも其流域に沃野廣く連る。氣候は大陸性を呈し、寒暑の差甚し。夏季には屢豪雨降りて、道路泥濘を極め、交通不便なり。冬季には河流凍結して、氷上車馬を通ずべし。

① 人文。人口約千六百萬。此地方は古來ツングース族の住せる處なるが、漢族の移住

南滿洲物産の積集 (大連停車場附近)



の産も少からず。鑛産は南滿洲の石炭、鐵鑛を著しとす。鴨綠江岸には大森林ありて、木材を産す。

大豆 豆糟

石炭

し來れるもの多くして、人口の過半を占む。又南滿洲にては、我國人の在留するもの日に増加し、北滿洲にはロシア人の移住せるもの多く、何れも各種事業の經營を力む。

支那政府は各省に督軍及び省長を置き、軍務、政務を分掌せしむ。

北滿洲には小麥の産多く、製粉業盛にして、又牧畜行はる。南滿洲には大豆、高粱の産夥しく、豆油、豆糟の製造盛にして、此他柞蠶絲、煙草、鹽等



鐵道は南部に我南滿洲鐵道會社の經營せる南滿洲鐵道及び安奉線あり、京奉鐵道之より分岐して支那本部に通ず。北部にはロシアの經營せる東支那鐵道(東清鐵道)ありて、シベリヤの鐵道に連る。南滿洲鐵道は關東州より起りて北に走り、東支那鐵道に連絡す。此鐵道はもとロシアの敷設せしものなりしが、其支線、鐵道附屬地及び附近の炭坑と共に、明治三十七八年戰役の結果として、我國の有に

東京より哈爾濱まで急行三日餘を要す。



滿洲に於ける鐵道

奉天(瀋陽)

奉天に我總領事館、遼陽、鐵嶺に領事館あり。

奉天と遼陽とは明治三十七八年戰役に我軍が大にロシア軍に捷ちし處なり。

鞍山の東方に千山の勝區あり。鐵嶺の埠頭を馬蜂溝と云ふ。

奉天市街



歸したるものなり。安奉線は我國の敷設に係り、又吉長、四鄭の二鐵道は日支合辦によりて成り、我南滿洲鐵道と連絡す。地方誌。奉天省は滿洲の南部を占む。奉天(ハルビン)は遼河平原の中央に位し、滿洲に於ける政治交通、商業の一中心をなす。其南方の遼陽、人口は繁華奉天に次ぐ。奉天の東には撫順の大炭田あり。遼陽の南なる鞍山には鐵鑛の產地あり、壯大なる製鐵所經營せらる。南方の蓋平には柞蠶絲の産あり。鐵嶺は遼河の中流に近く、農産物を集散す。近年漢族の東部内

蒙古に入り、土着して都邑を造る



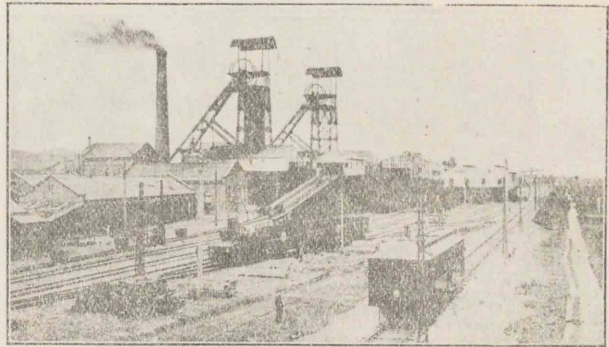
鄭家屯には我領事館あり。

營口に我領事館あり。此地に油房の設多し。

安東に我領事館、新民府に總領事分館あり。

安東の我專管居留地には數千の我國人ありて市況盛なり。

撫順東郷坑



もの次第に多く、奉天省の領域従つて亦著しく西方に延展せり。鄭家屯、洮南、人口等は何れも新に興れる都會にして、此地方の中心市をなす。遼河の口に臨みて營口、哈の開港場あり。上流地方より來れる豆類、豆油、豆糟等の輸出盛にして、豆類、豆糟は多く我國に送らる。東には南滿洲鐵道の支線西には京奉鐵道ありて、水陸交通の便を有す。唯冬季港面の凍結する缺點あり。更に遼河を溯れば新民府の商市あり。鴨綠江の下流には安東、人口の開港市あり。江を隔てて、朝鮮の新義州に對し、交通貿易の要衝に當り、附近の大東溝と共

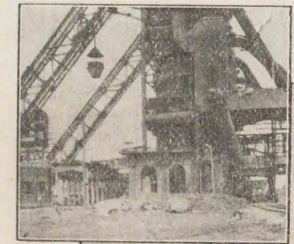
に鴨綠江の上流より來れる木材を集散す。安奉線は安東より起り、奉天の南に至りて、南滿洲鐵道に連る。沿線の本・鞍・溪湖には附近に鐵鑛と石炭とを産し、製鐵所の設あり。

鞍山

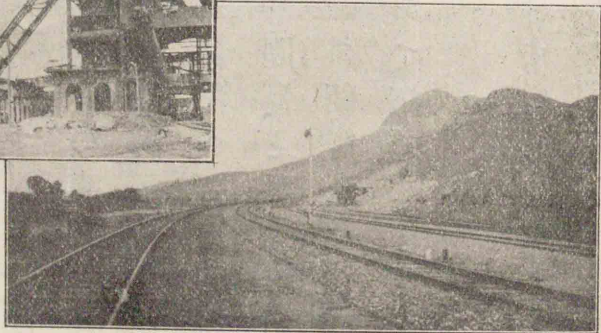
吉林と朝鮮の會寧との間には我國と支那との合辨の鐵道敷設せられんとす。

吉林、哈爾濱に我總領事館、長春に領事館あり。

吉林省は奉天省の東北に隣る。西南部の長春、哈は南滿洲鐵道に沿ひ、繁華なる商市にして大豆其他の取引盛なり。省城吉林、哈は松花江に臨み、材木、煙草、毛皮等の集散地をなす。



鑄鐵爐



哈爾濱、哈は松花江に沿ひ、交通の要點にして、長春より北上し來れる東支那鐵道はウラヂウ、ス・トクより來れる一線と此處に合し、西北黑龍江省に入る。口

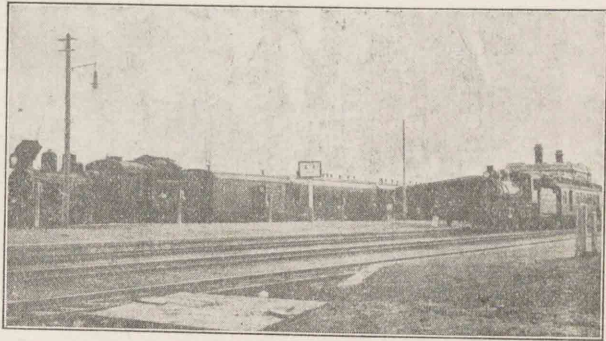


長春停車場は南滿洲鐵道の客車と東支那鐵道の客車との連絡する處なり。

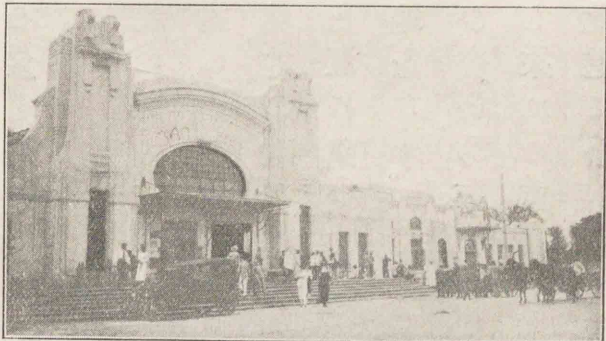
間島には銅、銀の産あり。

龍井村に我總領事館あり。齊々哈爾(龍江)に我領事館あり。

長春停車場



哈爾濱停車場



龍井村は其中央にある開市場なり。

黑龍江省は最北部にあり、土地多く開けず。省城を齊々哈爾Qiqiharと云ふ。哈爾濱より來れる東支那鐵道は、興安嶺を越

シヤ人は此地に大市街を經營し、北滿洲經營の中心とす。又製粉、醸造等の事業盛なり。豆滿江の北岸に沿へる地方を間島と稱し、多數の朝鮮人移住して拓殖に従事す。

黑龍江岸の愛琿及び黑河はシベリヤ國境の貿易市なり。

我國との貿易額約二億九千萬圓に上る。

間島には別に十餘萬の朝鮮人あり。

え、シベリヤに入る。國境に近く滿洲里Manchouliの商市あり。

④ 滿洲と日本。滿洲は其位置我朝鮮に接し、其南部は曩に二大戦役に於て我軍の偉功をたてし處なれば、其關係自ら他と異なり。我國の有する鐵道は此地方の要處を連ね、且朝鮮支那本部の幹線とも接續す。撫順の石炭は我國人の採掘に係り、本溪湖の石炭、鞍山の鐵鑛及び鴨綠江岸の森林は、支那人と共同して採掘伐木す。而して滿洲の産物は多く我國に送られ、我國の綿布、綿絲等は滿洲各地に供給せらるゝもの少からず。従つて我内地人の移住者漸く増加し、其數既に九萬に及び、鐵道沿線の都邑には夙に我新市街經營せられ、中にも安東、遼陽、鞍山、奉天、長春等の鐵道附屬地にあるものは、街路廣濶にして、壯大なる家屋多く、各種の施設よく備れり。



第一編 アジヤ

第一章 總論

一 地文

●**境域。** アジヤ大陸は北は北極洋に臨み、東北はベーリリング海峡を隔てて、北アメリカ大陸の西北端に對す。又東は太平洋に臨み、南はインド洋に面し、西南はスエズ地峽によりて、纔にアフリカ大陸に連り、西方はウラル山脈、ウラル川等を境として、ヨーロッパ大陸に接す。アジヤ、ヨーロッパの兩大陸は之を併せて、ユーラシヤ大陸と稱す。

●**地形。** アジヤは地球上最大の大陸にして、其面積は世界陸地の三割に近く、山脈、臺地の高大なるもの多く、大陸の平

面積約二百九十九萬方里(約四千四百萬方里)。

各大陸の幹と肢の割合

南アメリカ	北アメリカ	オセアニア	アフリカ	アジヤ	ヨーロッパ
■	■	■	■	■	■
部島半	部島半	部島半	部島半	部島半	部島半

均海拔亦各大陸中の第一に位し、而も亦平野の廣大なるものに乏しからずして、數多の大河其間を流る。

海岸線の出入は、北極洋岸には少く、ベーリリング海峡を過ぎて、太平洋に出づれば、カムチャッカ半島突出し、日本列島長く其西南に列り、大陸との間にオホーツク海、日本海、東支那海等を挟み、日本海の西に朝鮮半島横はりて、其西に黄海を抱く。大陸の東南部にはインドシナ半島突出し、其東と南とに散在せるマライ諸島との間に、南支那海を挟む。

インド洋には、三角形をなせるインド半島、大陸の南部に突出して、東にベンガル灣、西にアラビヤ海を控ふ。アラビ

アジヤの半島、島嶼の面積は、大陸面積の百分の二十に當る。同様の比を他の大陸に就きて求めれば、ヨーロッパは百分の二十七、アフリカは百分の二。



パミール高地にあるカラグル湖の水面は、海拔四千米にして、我富士山よりも高し。  
エヴェレスト山の高距は、八千八百四十米にして、富士山の二倍に餘れり。



アジヤの断面圖

ヤ半島は大陸の西南部にありて、ペルシヤ灣と紅海との間に挟まる。又西端には小アジア半島ありて、地中海と黒海との間に横はる。

中部は特に高く、數多の大山脈は世界の屋根なるパミール高地を中心として四方に走る。即ち雄大なるヒマラヤ山系は其東南に延びて大彎を畫き、世界第一の高峯エヴェレスト山其中に聳ゆ。其北にはトランスヒマラヤ山系及びチベット高原を隔てて、崑崙山系あり。パミール高地より東に走りて、支那本部に入り、一派は分れて東北に向ひ、興安嶺に連る。崑崙山系の北には天山

中部地方の地理は、スウェーデンのヘーデンが數回の探検によりて闡明せられたるもの多し。

大陸の邊緣には火山甚だ多く、殊に日本列島、マライ諸島に著し。

山系、アルタイ山系等ありて、此兩山系と崑崙山系興安嶺との間は、荒漠なるターリム盆地、ゴビ沙漠をなす。大陸の東北部も山がちなれど、雄大なる山脈少し。東南部には、高峻なるインドシナ山系あり。インドシナ半島に連りて、マライ半島の南端に及べり。又パミール高地より西南に分れて、ヒンズークシ山脈あり。連嶺之より延びて、内にイラン高臺を包み、其餘脈遠くヨーロッパに及ぶ。此等の山系の外部には、インド半島にデカン高臺あり。アラビヤ半島亦沙漠の高臺より成る。而して平原の最も大なる



パミール高地



るものは、大陸の北部シベリア地方にあれど、其最もよく開けたるものは、支那東部とインドとに於ける諸大河の沿岸にあり。此他イラン、アラビヤ兩高臺の間にもメソポタミヤ平原あり。

主要なる河流は、源を大陸の中部、高臺地方に發して、太平

湖沼にてはシベリヤ東部の山間にあるバイカル湖、内陸流域の鹹湖アラル海、カスピ海等大なり。

(域流陸内は線斜)系水の陸大アジア



洋インド洋北極洋に向へる三斜面を流る。太平洋斜面には、黒龍江、黄河、揚子江及びメコン川あり。インド洋斜面には、インドにブラマプトラ、ガンガインヅスの三川、メソポタミヤ平原にシトエララブ川あり。又北極洋斜面には、レナ、イニセイ、オブの三大河あり。

大陸の中央部及び其西に互れる地方にては、河流は外海に出づること能はずして、内陸流域をなし、アム、シルの二川はアラル海に、ウラル川はカスピ海に注ぐ。此等諸川の中、太平洋及びインド洋の斜面にある諸大河の沿岸地方は概ねよく開け、古來アジアに於ける文化の中心をなせり。

●**氣候**。此大陸は面積廣大にして、且地形複雑なるにより、氣候は到處に特色ありて、一様ならず。南部より東部に互りては、夏季海上より來る季節風多量の濕氣を伴ひて、沿岸地方に多く雨を降らし、殊にイン

中 部 ア ジ ア の 沙 漠



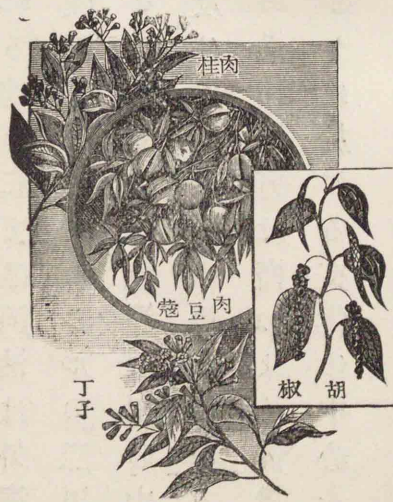
南部及び東部の地方は毎年季節風吹くが故に、季節風帯地方と稱せらる。



ドに最も甚し。此等の地方は植物の生育に適し、地産極めて富饒なり。

中部地方は、海岸を距ること遠きが故に、大陸性氣候を呈し、寒暑の差甚しく、且海岸より來る濕氣は、多くは其周圍の山脈に吸収せられ、雨量極めて乏しく、沙漠をなせる處多し。北部は甚だ寒冷にして、特にシベリヤの東北部は、世界の寒極と稱せらる。又西部にては、地中海、黒海の沿岸地方は、氣候溫和なれど、イラン及びアラビヤの高臺は酷熱にして、降雨少く、荒漠なる沙漠をなす。

④ 生物界。 南部の暖き地方



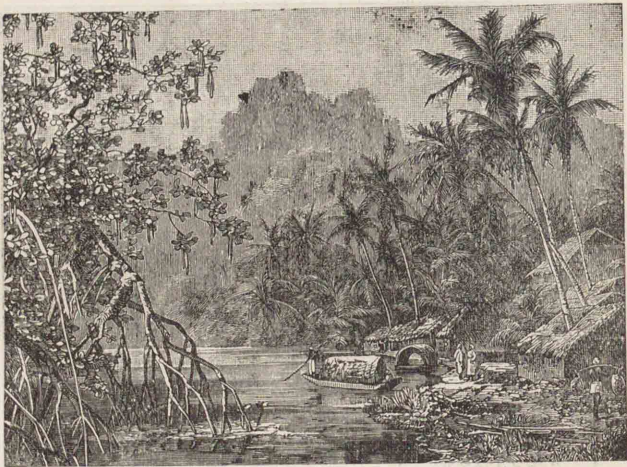
物植料香るす産にヤシ

陸上には椰子の亭々たるあり、水中にはマンダローグの森林あり。之を南部アジア熱帯地方の特色とす。

虎は東部地方にも産す。

最北の地方の植物に乏しきは、氣候寒冷にして一年の大部分地表全く凍結するに因る。

南亞熱帯地方の風景



には、象、虎、犀、獅子、猩々、孔雀、大蛇等の動物あり。又熱帯性の森林深く、且種々の香料、砂糖、椰子綿等を産す。此地方より東南沿海地方に互りては、平原に米、茶等の産出極めて多し。

中央高臺及び西部地方は、土地多くは不毛にして、牛、馬、羊、駱駝の放牧行はる。

北部の平原には、針葉樹の森林帯あれど、最北の地は植物極めて乏しく、家畜には、馴鹿あり、野獸には、白熊、貂、狐等あり。又東北の沿海には、獵虎、獵熊、獵鹿等の海獸多く、此等は何れも良き毛皮を供給す。

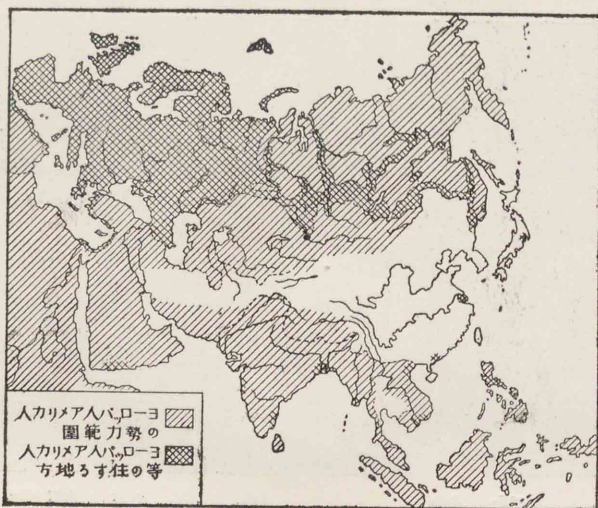


二 人文

● 國家。アジアは最も早く開けたる大陸なり。されば古來

數多の國家此處に興りしが、今は我日本帝國を始め、支那共和國、シム、ペルシヤ、ヘチヤズHehjasの三王國及び四酋長國あるに過ぎず、其餘はヨーロッパ、アメリカ諸國の領地となれり。アジアに於ける國土の分布を見るに、大陸の東部海岸地方より、遠く中部地方に互りて、廣大なる支那共和國あ

圖 勢力のメアカリ人、メアカリ人ヨるけに於て



トルコ帝國に屬する地方中大戰講和條約の結果國際聯盟の管理に歸せんとするものあり。

り。大陸の南部なるインド半島は、概ねイギリスの領地にして、其北部ヒマラヤ山腹には、ネパール、ブータンの兩酋長國あり。インドシナ半島の中部には、シム王國孤立し、其西隣及び南隣はイギリスに、東境はフランスに屬す。

西部のイラン高臺にはアフガニスタン酋長國、ペルシヤ王國あり。極西の地方はトルコ帝國に屬し、アラビヤ半島の大部分はイギリスの勢力範圍にして、其東部にオマーン酋長國、西部にヘチヤズ王國あり。而して黒海より太平洋岸に至る大陸の西部、中部及び北部一帯の地はロシアの有に歸す。

此他、大陸の東南にあるマライ諸島は、オランダ、アメリカ合衆國、イギリス等の領地となれり。かゝる中にて、我日本帝國は大陸東岸の地方に國を建てて、國勢日に盛なるを見



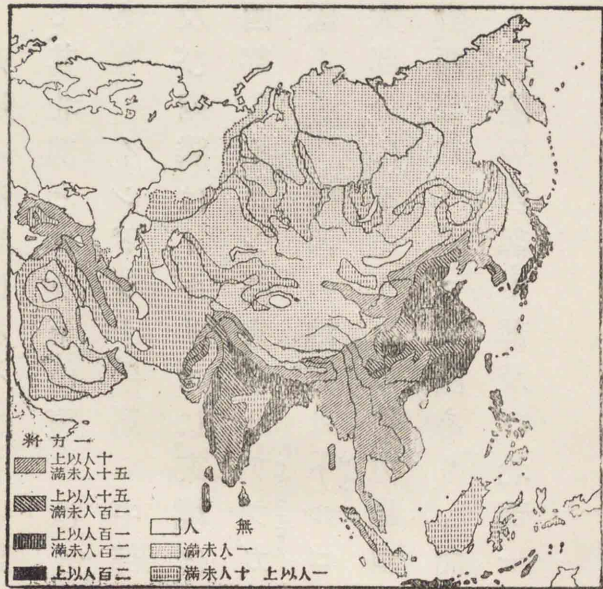
る。我國は支那及びシムとは國交を結びて、公使を派遣し、又通商上の要地に領事を駐在せしむ。

●住民。大陸の人口は約八億七千萬ありて、其多きこと諸

アジアに於ける人口の密度は、ヨーロッパの二分の一に足らず。

ロシア 四三〇  
アフリカ 四九〇  
アメリカ 四六〇  
オセア 〇八  
ニヤア 〇八

度密の口人るけにヤシア



大陸中の第一位にあり。其最も稠密なる處は、我國を始として、支那及びインドに於ける大河沿岸の平原地にして、中部北部は概して甚だ稀疎なり。

住民は主にアジア人種(蒙古人種)にして、大陸の東部より中部及び北

部に互りて住し、ユーラフリカ人種(Eurafriicans)は之に

次ぎて、西部と南部とに住す。又東南部のインドシナ半島よりマライ諸島に互りては、海岸島嶼種族に屬するもの多し。

住民の開化は一様ならず。支那、インド、ペルシヤ等は、上

古には甚だよく開けたることあれども、今は其文明ヨーロッパ後進諸國の下に立つに至れるものあり。其他の地方は、文明の程度更に低くして、未開の状態にあるもの少からず。而して此等の間において、獨りアジアに於ける文明の先導者たる地位に立てるもの之を我日本國民となす。

●宗教。世界の大宗教は、何れもアジアに起りたるものなれば、此大陸に行はるゝ宗教の種類は最も多し。佛教は東部、東南部に盛にして、支那には此他に道教、儒教行はる。ヒンヅー教はインドに行はれ、回教は西部に盛にして、更に南部



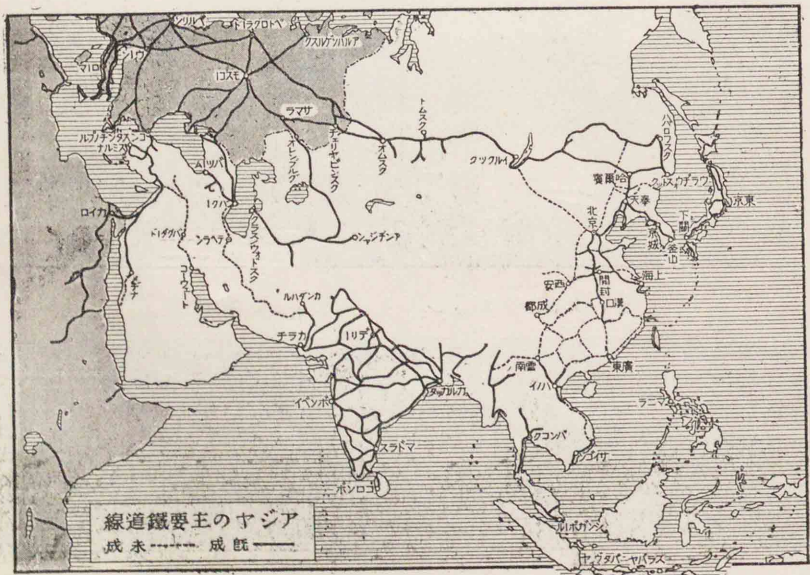
東南部及びマライ諸島に及び、又キリスト教は各地に信奉せらる。

農業は西北の一部にも行はる。

④産業。大陸の産業は其風土に應じ、東部、南部の平原には農業盛にして、中部より西部に亙りては、遊牧をなすもの多く、北部には漁獵を營むものあり。鐵石炭等の埋藏多けれど、採掘尙十分ならずして、大工業は未だ此大陸に盛ならず。されど我國、支那、インドなど農産物、工藝品等の産多き處には國際貿易亦盛に行はる。

⑤交通。交通の發達は、ヨーロッパ、北アメリカ等に比すれば、尙數等劣れり。鐵道は、其延長尙極めて短く、世界全長の約十一分の一に過ぎず。我國、インド等は、其比較的發達せるものにして、支那及び西部アジア地方にも、近年鐵道の敷設せらるゝもの少からず。又北部アジアにはシベリヤ鐵道あり

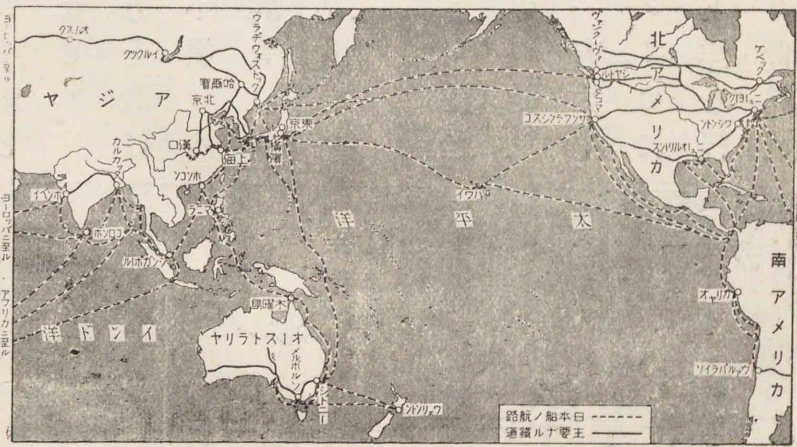
て、ヨーロッパと太平洋岸との交通の幹線をなせり。されど、此等の地方を除けば、其内地は交通不便なる處多く、纔に馬駱駝等の背を借りて、荒漠の地を行かざるべからず。海上の交通はよく發達し、我國及び諸國の汽船は、東部の諸港より、一方太平洋を横斷して、アメリカに向ひ、又一方インド洋を経て、ヨーロッパに至り、世界航



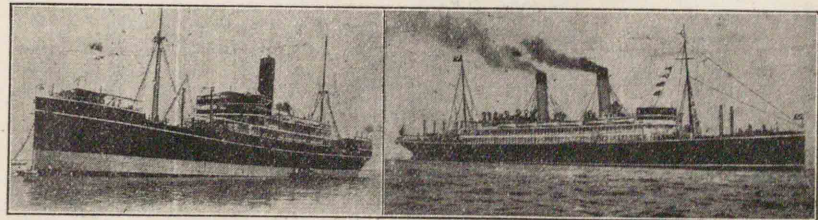


路の幹線をなす。其他、オーストラリア、マライ諸島等への航路亦開かる。

主要なる電信線路は、大陸を横断し、或は沿岸の海底によりて、ヨーロッパに至り、又太平洋底を横ぎりて、アメリカに達し、且南方オー



路航の船汽我るけ於に洋東



丸茂賀の路航パッコロヨ

丸洋天の路航洋平太

ストラリヤにも通じ、無線電信局も亦沿海の要地に設けられたるが故に、世界の通信には、既に略、不便なきに至れり。

### 第二章 東部アジア

#### 支那

CHINA

面積約七十一萬方里。國土の廣大なることイギリス、ロシア、フランスに次ぎて世界の第四位を占む。

國の西端パミール高地の境に近く有名なる高峯ムズタフアタあり。

●**境域。** 支那はアジア大陸の中部及び東部の大部分を占め、其面積は大陸の四分の一に及び、我國の十六倍餘に當る。國の東部を支那本部と稱す。東北部に滿洲あり、西部に新疆省あり。又北部を蒙古と云ひ、西南部の高原をチベットと稱し、其間に青海あり。

●**地形。** 國の西部より中部に亙りては土地概ね高く、ヒマラヤ、崑崙、天山、アルタイ及び興安嶺等の大山脈の間には、荒漠なるチベット高原、ターリム盆地、ゴビ沙漠等あり。東部に



赴くに従ひ、土地次第に低く、崑崙山系は支那本部に入りて、秦嶺山脈(北嶺)となる。インドシナ山系は支那本部の西境を南走し、大雪嶺山脈其中にありて殊に著る。別に支那本部の南部には、西南より東北に連る南嶺あり。海岸及び大河の沿岸には、豊沃なる平野少からず。

海岸線は比較的短し。北部には遼東、山東の兩半島突出して、黄海より渤海灣を分つ。南部の東支那海、臺灣海峡及び南支那海に面する處は、無數の小出入をなし、杭州灣、廣東灣其他港灣の良好なるもの少からず。

國の東部は太平洋斜面に屬す。黄河は源を崑崙山系の中央に發し、秦嶺山脈の北に出で、渭水を併せ、東流して廣大なる沖積平野を造り、終に渤海灣に注ぐ。其流域の地、黄土多くなり、河水黄濁を帶び、其造れる平野は地味甚だ豊沃なり。

黄河は凡そ六十年前には直に黄海に入りしが、今は遙に北に偏して渤海灣に注ぐ。

唯其下流は屢洪水を起し、患害多く、又河道の變遷常ならず。支那第二の大河なれど、舟楫の便は多からず。

揚子江は四川盆地以下舟楫の通ずる處約六百七十里に及び、其水路は實に海岸地方より内地に向へる交通路の幹線をなす。

揚子江の峽流



揚子江も亦崑崙山系の中央より出で、始はインドシナ山系の間を南流すれど、後に東に折れ、四川盆地の水を集めて、峽流をなし、遂に平原に來り、數多の支流を併せ、又洞庭、鄱陽の二湖此等支流の下流にありて、江の水量を調節し、終に東支那海に注ぐ。江はアジヤ第一の大河にして、其流域の面積は殆ど支那本部の半に等しく、四川盆地以下は舟運の利あり。殊に其



下流は自由に大汽船を通じ、沿岸の地亦よく開け、都邑極めて多し。江は實に此國人文發展の大動脈をなすものと謂ふべし。

以上二大河の外、支那南部には西江あり、東流して廣東灣に注ぎ、下流を珠江と云ふ。其流域亦よく開けたり。

國の西部内陸流域の地にはイリ川、タールム川等あり、又鹹湖に乏しからず。鹹湖にては青海最も著る。

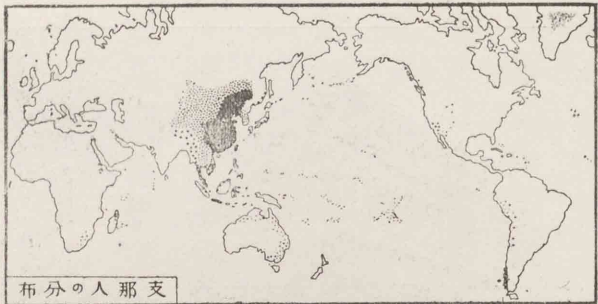
青海は其大きき  
鹽湖の約十二倍  
あり。

●氣候。國土廣きが故に、氣候は一樣ならず。内地は大陸性

氣候にして、雨量極めて少く、沙漠草地等の荒地多し。支那本部の南部及び中部は温暖にして、夏季季節風の吹く頃は雨量少からず。唯北部の冬は北アジア極寒の影響を受け、甚だ寒く、河水氷結す。

④住民。人口約三億三千万、其大部分は支那本部及び滿洲

支那人の國外に  
あるもの約七百  
萬人にして、  
大部分はシヤ  
ム、マライ諸島  
に居り、又アメ  
リカにあるもの  
約三十萬人に及  
ぶ。又我國在留  
外國人の大部分  
は此國人なり。



支那人の分布

支那人の家庭

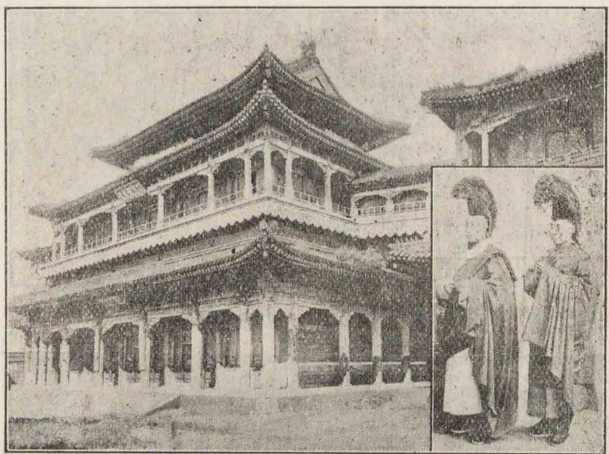


に集り、海岸地方竝に揚子江、西江の下流地方に其密度特に大なり。此他に溢れてアジアの東南部及びオセアニア、アメリカ、アフリカ等の新開地に移住するもの多く、性勤儉にして労働を厭はず、殊に商利に長ぜり。されば白人の厭ふ所となり、其移住を拒む處すらあるに至れり。



北方民族の跳梁は此國民族動靜の一大特色にして、其の中部アジヤの高臺に遊牧を事とせるもの一たび南下すれば支那本部の平原に出て、農耕の民となり、漢人と同化する事と歴世皆然りとす。

喇嘛教寺院及び僧侶



人種はアジヤ人種に屬し、更に漢、ツングース、苗、トルコ、蒙古及びチベットの六種族に分る。支那本部には漢族最も多く、嘗て此地方を占めたりし苗族は、次第に之に逐はれて、今は纔に其西南部の地方に住し、又滿洲のツングース族は、近世に至りて、支那本部に侵入して、漢族と共に、國民の主要なるものとなれり。蒙古族、チベット族は各其地方に住し、トルコ族は新疆省に多し。此等は漢滿の二族に比して、開化の度低く、多く遊牧を業とす。

種族多きが故に、言語の種類

亦少からず。其上流社會に用ひらるゝものを官話と云ふ。宗教の種類も多くして、支那本部には、儒教、佛教、道教、チベット、蒙古には喇嘛教行はる。其他回教、キリスト教を信奉するもの亦少からず。

近年先進諸國の制度、教育等を模して諸事革新の實を擧げんとし、我國人及び諸外國人の僱用せらるゝもの少からず。

近時支那本部の南部に廣東政府なるものを組織し、國內分裂して統一せず。

**政治。** 此國は久しく君主專制國なりしが、我明治四十四年革命起り、新に國を立てて、中華民國と稱し、共和政體を布き、大總統を元首とし、立法は人民の選舉したる議員によりて組織せる民國議會之を行ひ、行政は國務總理を首班とせる國務院の下に、外交、内務、財務、陸軍、海軍、教育、司法、農商、交通の諸部ありて、之を分掌す。

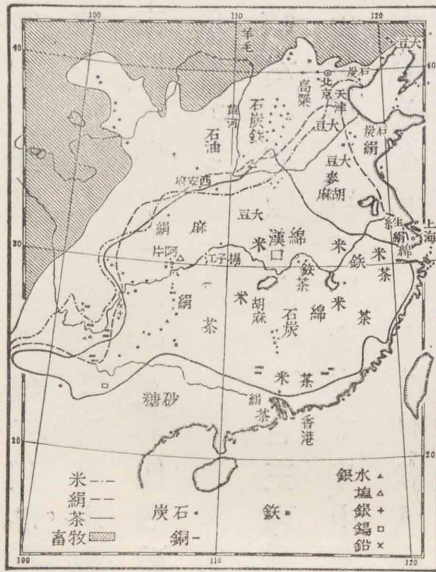
地方制度は、支那本部を京兆、川邊及び十八省に、滿洲を三省に分ち、之に新疆省を加へて二十二省となし、京兆に尹、川邊に鎮守使、各省に督軍、竝に省長を置きて、之を治めしむ。



蒙古、青海、チベットは特殊の行政組織を有す。陸軍は軍制未だ全く統一せず、兵卒の訓練も省によりて大に異なる所あり。海軍は振はず。

⑥産業。地形、風土到る處に異なるが故に、天産の種類亦同じからず。従つて國民の生業も一様ならず。支那本部は農産に富み、揚子江流域及び其以南には、多く米、茶、綿、麻等を産し、北部の平野には豆類、麥、高粱を産す。蠶業亦各地によく行はれ、生絲は我國と共に世界主産地の一たり。支那本部の北部より蒙古、新疆、チベット等荒漠の地方には遊牧行はれ、羊、馬、騾、

支那天産物の主要産地



此の國は日本、イタリヤと共に蠶絲の大産出國なり。

多望なる油田もあれど、未だ鑿井せられず。

生絲産額比較



世界六百八十五萬貫  
日本三百五十六萬貫  
支那百九十萬貫  
伊太利九十六萬貫

大工業は未だ盛ならざれど、近年漸く揚子江流域地方に、製鐵、紡績、織布等の事業を見るに至れり。

要するに、此國は天産饒にして、富源莫大なれど、其利用の途未だ開けざるの憾あり。されど國民は工藝に長じ、陶器、絹布の如き

駱駝、犛牛等の産あり。又豚は支那本部の最も

主要なる家畜たり。水産は少くして、我國より多く輸入せらる。鑛産は豊富にして、

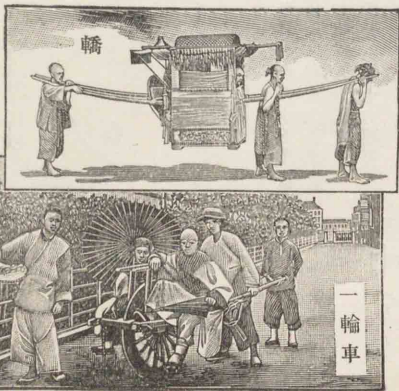
殊に石炭と鐵とは北部、中部に多量に存すれど、採掘未だ十分ならず。従つて之に伴ふ





大正七年  
輸入品價額  
約六億四千  
圓。  
輸出品價額  
約四億八千萬  
圓。

一輪車は支那本  
部の中部地方に  
於ける特殊の交  
通具にして、轎  
は多く士人の乗  
用に供せらる。

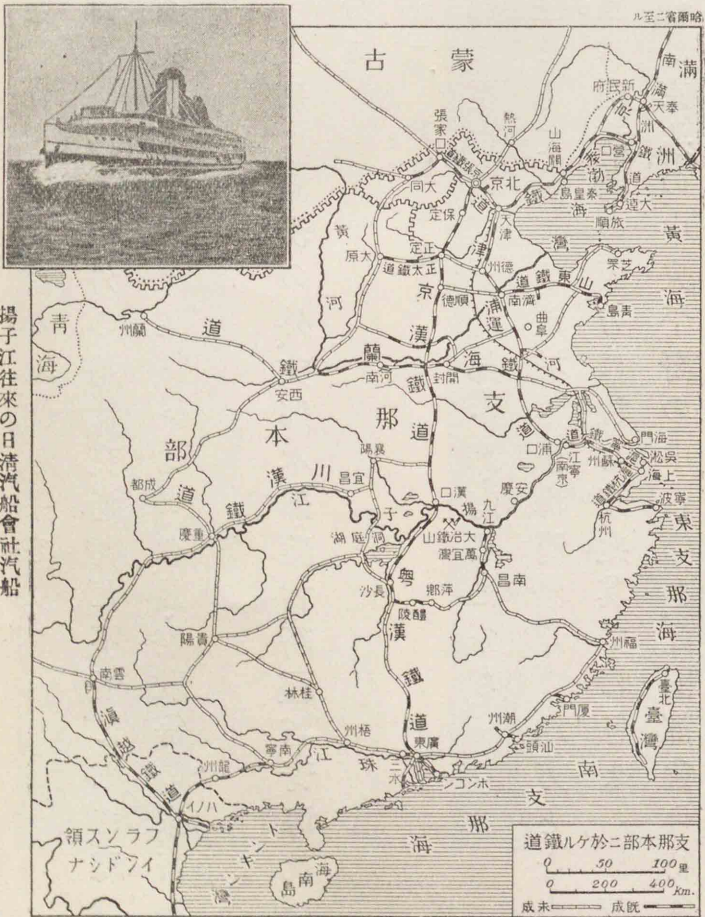


は、古來精巧の名高く、且多額の産あり。  
外國貿易は、日本、イギリス及び其領地、アメリカ合衆國、フ  
ランス等との間に盛に行はれ、主として生絲茶等を輸出し、  
綿布、綿絲、阿片、金屬等を輸入す。

交通。支那本部は開國既に久しく、住民も亦多けれど、交  
通の便は未だ十分に發達せず。交通機關は昔より南船北馬  
と稱し、支那南部にては船によりて  
河川、運河を航し、支那北部にては馬、  
驢、騾、駝等によりて往來す。開通  
せる鐵道中、京奉、京漢、津浦等幹線の  
主要なるものは揚子江の以北に多  
く、概ね外國人の手に成る。此他近年  
各地方に新線路の敷設企畫せらる

我國人の多く在  
留せる處には  
我郵便局の設あ  
り。

るもの少からず。近海は汽船の航路次第に開け、内陸にて  
も揚子江及び其以南の地は水運の利多し。されば支那の招  
商局を始め、各國の  
汽船は航  
業を此等  
の河海に  
營み、我日  
本郵船會  
社、大阪商  
船會社、日  
清汽船會  
社等は、此



支那

三九



中にありて、何れも優越なる地位を保てり。  
支那本部及び滿洲以外の地は、交通甚だ不便にして、驛イキ站チヤウに乏しく、交通の用に供せらるゝものは、馬、駱駝等の家畜あるに過ぎず。

⑧ 地方誌。支那は滿洲の外、支那本部、蒙古、新疆省、青海及びチベットに分る。

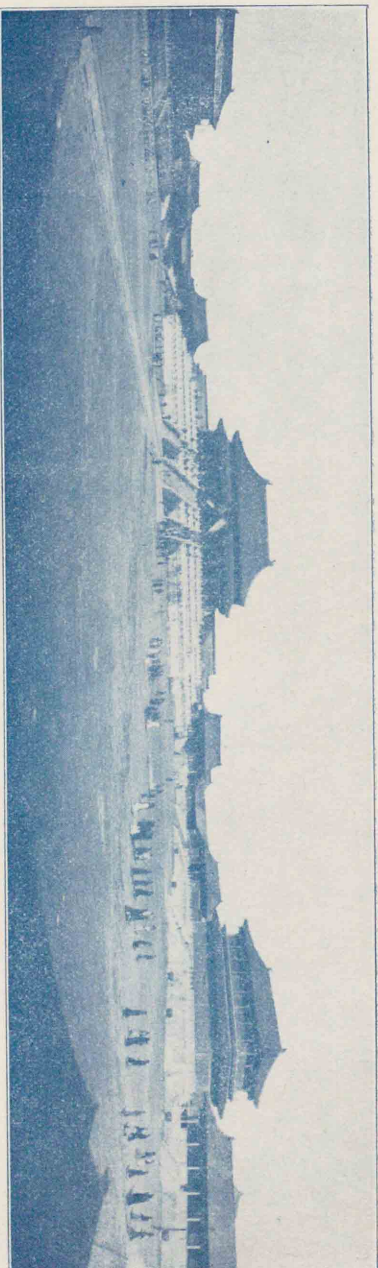
其一 支那本部

支那本部は更に地形上北部、中部、南部に分る。

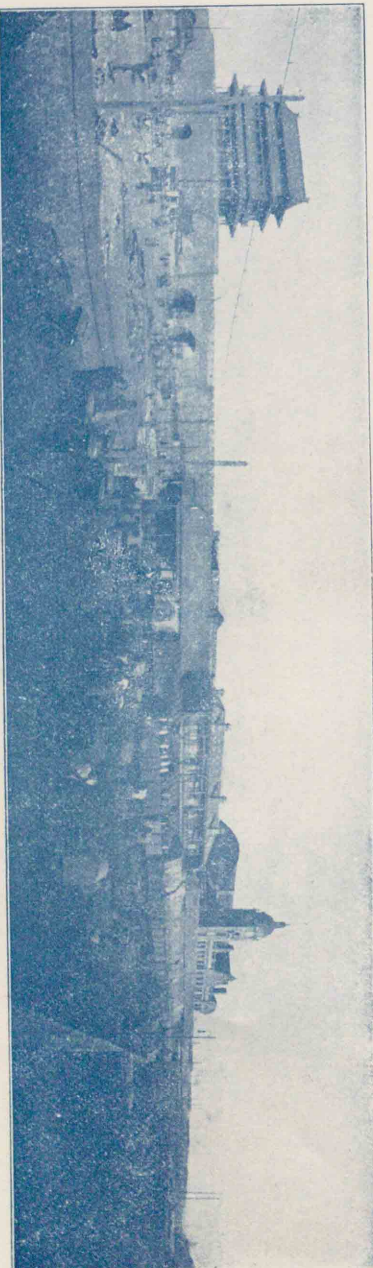
北部は主として、黄河の流域と渤海灣沿岸の地方とを占む。  
直隸省は渤海灣の西方に位し、京兆チンギン其中に包まる。首府北京チンギン人口約七九萬は京兆の中央平野の中にあり。此國都會の特色たる城壁を繞らし、内外二城に分る。内城の中央に舊宮城ありて、結構壯大なり。其他内城の内には大總統府を始め公衙

面積約二十六萬方里。  
人口約三億二千萬。

北部には京兆の外に直隸、山東、山西、河南、陝西、甘肅の六省あり。



殿運承の城内京北

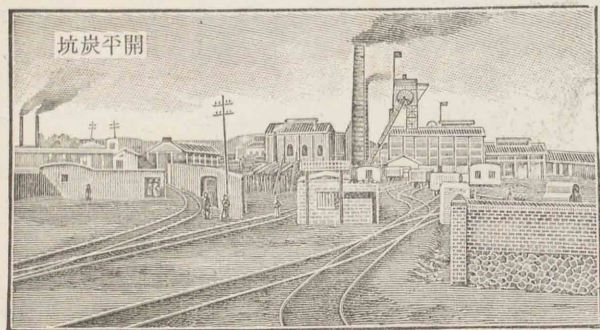


場車停の外門陽正京北

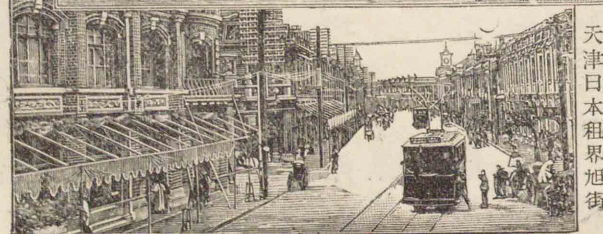
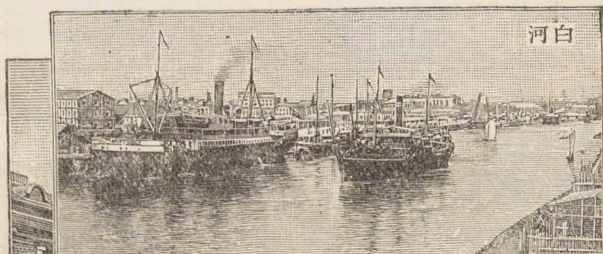


北京に我公使館、天津に我總領事館あり。北京の西北郊外に頤和園あり、前は昆明湖に臨み、後に萬壽山を負ひ、風景絶佳なり。天津には完備せる我國の專管居留地あり。又我軍隊駐屯す。

邸宅等多く、外城は商業區をなせり。北京より京奉鐵道によりて、東南に向へば、白河の下流に跨りて、天津人口約七五萬あり、直隸省の省城をなし、交通の要衝に當り、北部第一の開港市にして、商業盛なり。京



奉鐵道は天津より東北に向ひ、開平の炭坑、山海關の要地等を過ぎて、滿洲に入り、奉天に至る。山海關に近く秦皇島の不凍





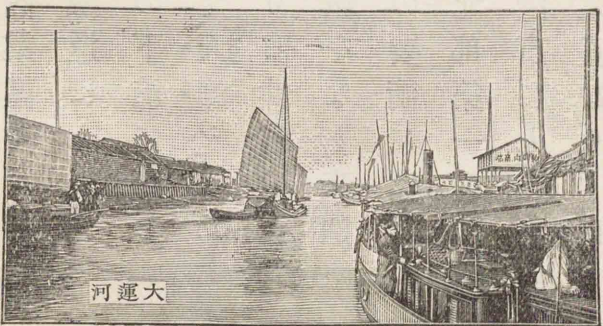
港あり。

有名なる萬里の長城は、山海關より起りて西に延び、山を越え、谷を渡りて、遠く甘肅省の嘉峪關に達す。又大運河は天津より起りて、平野を南走し、浙江省の杭州に至る。共に世界屈指の大土木なり。天津より南方に向へる津浦鐵道は、揚子江岸の浦口に至る。

北京より京張鐵道により西北に向へば張家口あり。蒙古に入

萬里の長城は延長八百里に及び、二千餘年前の修築に係る。大運河は長さ三百里に餘り、世界最長の運河にして、約千三百年前に開鑿せられたり。

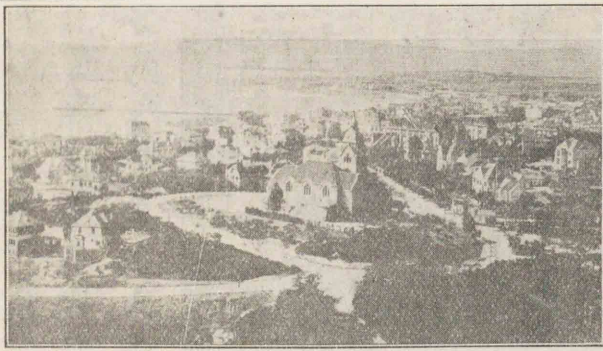
張家口(張北)



る門戸をなし、蒙古との貿易盛なり。又京漢鐵道は北京より起り、南に向ひ、揚子江岸の漢口に至り、津浦鐵道と相對して、共に南北交通の幹線をなす。

山東省は山東半島の地にして、産業發達し、人口稠密なり。柞蠶絲、繭紬、大豆を産し、又石炭鐵鑛に富む。北岸に芝罘の開港市と英國の租借地威海衛とあり。南岸には半島の頸部なる膠州灣岸に青島あり。山東鐵道は此地に起りて、省城濟南に至り、津浦鐵道に連る。沿線に近く金嶺鎮の鐵山及び博山、坊子の炭坑あり。膠州灣はもとドイツの租借せし處にして、ドイツは青島の市街、港灣を經營し、山東鐵道

芝罘(煙臺)に我領事館、濟南(歴城)に我總領事館あり。



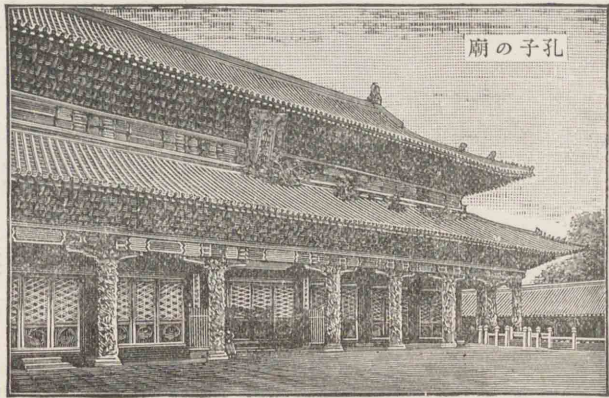
支那



を敷設し、其沿道に於ける鑛山の採掘權を收めたりき。然るに大正三年我國は軍事的に占領し、大戦講和條約の結果、ドイツより其山東半島に於ける利權を譲受け、膠州灣は之を

支那に還附せんとす。濟南の南には孔子の廟ある曲阜と泰山の名山とあり。

山西省は直隸省の西に隣り、北部は山多く、南部の高臺には多量の石炭を藏す。省の中央を流る、汾水に沿ひて、省城太原あり。鐵道東に走りて、京漢鐵道に連絡す。山西省の南には河南省ありて、秦嶺山脈の盡くる處に位す。黄河は此處にて始めて



孔子の廟

太原(陽曲)

河南、西安間に潼關あり、渭水平野の咽喉をなす。其東方の隘路に函谷關の遺址を存す。

蘭州(皋蘭)

平原に出づるが故に、屢溢れ、省城開封は其災に罹ること少からず。河南は一に洛陽と云ひ、舊都にして史蹟多し。

陝西省は山西、河南兩省の西にあり。秦嶺山脈其南部に横はる。其北麓渭水の岸に省城西安あり。一に長安と稱し、屢帝都たりし地にして、附近亦史蹟に富む。甘肅省は陝西省の西に隣り、土地僻遠にして、人口漸く疎なり。省城を蘭州と云ひ、西北部新疆省を

經て、西部アジアに通ずる交通の要衝に當る。

支那本部の中部地方は揚子江流域を占む。江蘇省は揚子江の河口地方、海岸の平野を占め、之に隣れる安徽省、浙江の



函谷關



中部には  
江蘇 安徽  
浙江 江西  
湖北 湖南  
四川 貴州  
雲南  
の九省あり。

上海に我總領事館あり。

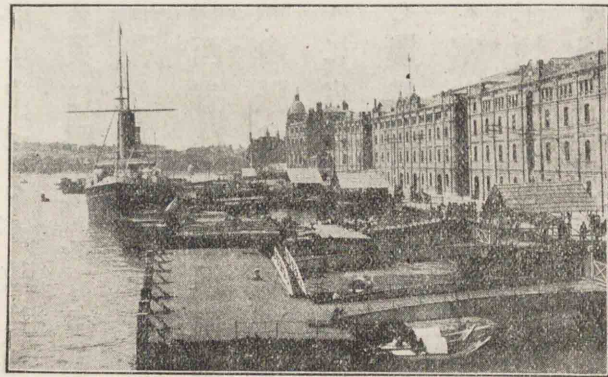
上海は今より七十餘年前に港を開きてより俄に隆盛に赴けり。

上海の輸出品は生絲、綿、茶等々其主なるものとす。

蘇州吳、杭州に我領事館あり。

杭州の西に接し西湖あり、風景を以て著る。東方には酒の産に名高き紹興あり。

上海の埠頭 (庫倉及び店支社會船郵本日は厦大の岸沿)



兩省と共に、戸口稠密にして、農業よく行はれ、米産の多きこと、蠶業、機業の盛なること、共に此國第一に位す。

上海七〇は揚子江岸の吳淞より江の支流黃浦江を溯れる處にある開港市にして、大船も來泊し、内外通商の咽喉に當りて、此國第一の貿易港をなし、我國の商船も

多く來集し、我綿絲、綿布、石炭等を輸入す。近年此地に綿絲紡績の業起れ

り。蘇州五〇は絹織物の産に名あり。之より大運河を南すれば、浙江省の

省城杭州に達す。杭州は錢塘江に臨み、又絹を産す。

上海を出でて、揚子江を溯れば、大

運河との會點に鎮江の開港市あり、農産物多く集り、又絹を産す。無錫亦繭生絲の市場を以て著る。江蘇省の省城江寧は其上流にありて、一に南京と云ひ、嘗て帝都たりしことありて、附近に古跡多し。上海との間に滬寧鐵道を通じ、又江を隔てて浦口あり、津浦鐵道の終點をなす。江を溯り、安徽省の蕪湖と其省城安慶を経て、西南すれば、江西省に入る。省の北部に鄱陽湖あり、贛江は省内を灌ぎ來りて之に注く。此省は茶の産多く、九江を其輸出地とす。之より南潯鐵道により南すれば省城南昌あり。

鎮江(丹徒)

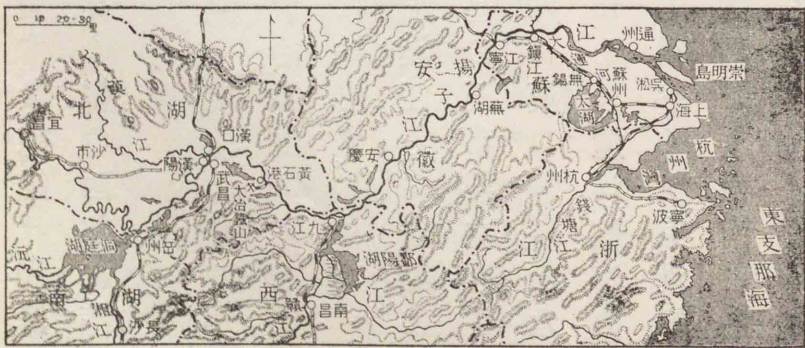
南京、九江に我領事館あり。

江蘇省には鳳凰山、安徽省には桃沖あり、共に鐵礦を産す。

安慶(懷寧)

南潯鐵道は我國人の投資に依る。

運河との會點に鎮江の開港市あり、農産物多く集り、又絹を産す。無錫亦繭生絲の市場を以て著る。江蘇省の省城江寧は其上流にありて、一に南京と云ひ、嘗て帝都たりしことありて、附近に古跡多し。上海との間に滬寧鐵道を通じ、又江を隔てて浦口あり、津浦鐵道の終點をなす。江を溯り、安徽省の蕪湖と其省城安慶を経て、西南すれば、江西省に入る。省の北部に鄱陽湖あり、贛江は省内を灌ぎ來りて之に注く。此省は茶の産多く、九江を其輸出地とす。之より南潯鐵道により南すれば省城南昌あり。



揚子江の附近の主要なる都市



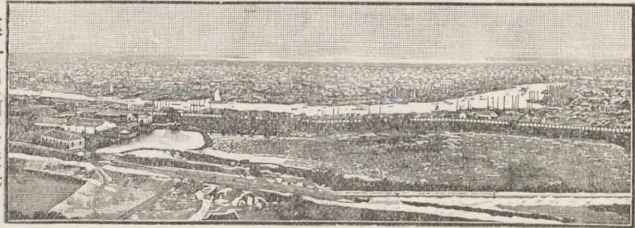
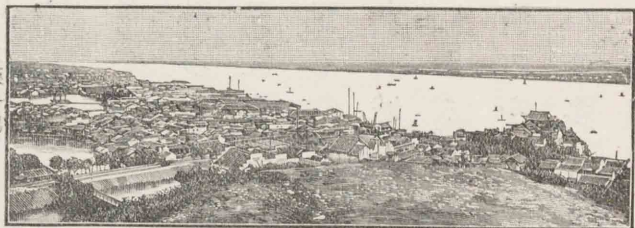
江西省には葛布の産多し。九江の西に廬山あり、勝景に富む。

我八幡製鐵所は多く大冶鐵山産の鐵石を用ふ。

漢口(夏口)

漢口に我專管居留地あり。我總領事館を置き又我軍隊駐屯す。

北京、漢口間の鐵道は約三百里(約千二百軒)あり、急行列車にて凡そ三十時間を要す。



り、盛に紙を製す。景德鎮は陶器の産を以て名高く、省の西部に萍郷の炭坑あり。更に江を溯りて湖北省に入れば、江に近く大冶鐵山ありて、盛に鐵石を我國に輸出す。

又揚子江と漢江との會點には、漢口、漢陽、武昌の三市鼎立して大都會をなす。殊に漢口人口約七は水陸交通の要衝にして、遠洋航海の大汽船も到達し得べく、又京漢鐵道の終點に當り、加之粵漢鐵道は對岸の武昌より西南に通じ、漸く延びて縦貫幹線の南半を成さんとす。されば貨物の集

漢口にはロシア人の經營せる磚茶の製造所あり。

漢陽の製鐵、大冶の鐵坑、萍郷の採炭は漢冶萍公司の經營に係り、我國の之に投資する所少からず。

岳州(岳陽)

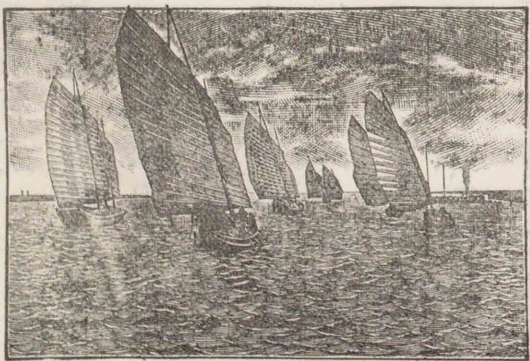
長沙、沙市、宜昌に我領事館あり。

宜昌、重慶間は近時漸く小汽船を通ず。

散極めて盛にして、一大商業市をなし、特に茶、綿を輸出し、又我國よりは綿絲、綿布等を輸入す。武昌は省城にして、漢陽には製鐵廠あり。大冶の鐵、萍郷の石炭を用ゐて製鍊す。

湖南省の形勢は江西省と甚だ相似たり。省内の洞庭湖は湘江、沅江等の水を集めて、揚子江に供給す。岳州は其會點に近く、此省の咽喉をなす。湘江に沿ひて省城長沙あり。

更に岳州より揚子江を溯れば、再び湖北省に入り、沙市を経て、宜昌に至る。之より上流の揚子江は、山間に壯大なる峽流をなし、兩崖壁立して河水急湍をなし、所謂三峽の嶮をなす。されば普通の汽船は、宜昌を以て航路の終點とし、



洞庭湖



成都より東北に向ひ陝西に通ずる道は古來蜀の棧道の名を以て著る。成都に我總領事館、重慶(巴)に我領事館あり。

雲南(昆明)に我領事館あり。フランス領インドシナ及びパルイの境に近く、蒙自、思茅、騰越の貿易市あり。

南部には福建 廣東 廣西の三省あり。

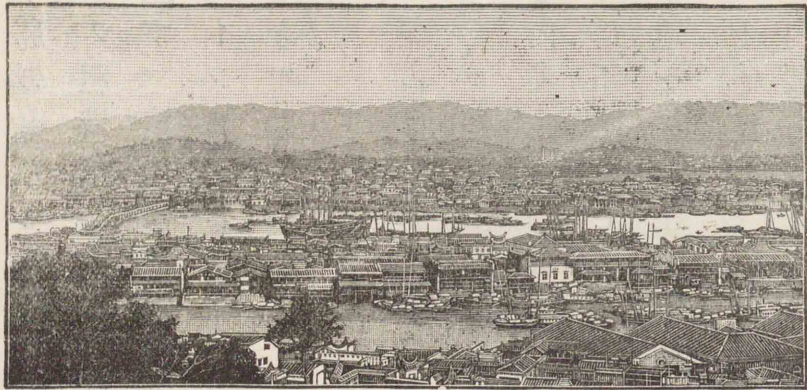
之より上流は主として支那船によりて航行す。四川省は山間にありて、其中央は盆地をなし、農産多く、又絹織物の産あり。其中心に省城成都あり。盆地より流る、嘉陵江と揚子江との會點には重慶(人口約六〇萬)の開港市ありて、此省の咽喉をなす。省の西に隣り、チベットとの間にある地方を川邊特別區域と云ふ。打箭爐は鎮守使の駐在する處なり。四川省の南には貴州、雲南の兩省あり。東隣の湖南省よりは、土地急に高まりて、臺地をなし、貴陽、雲南を其省城とす。雲南より南に向へば、鐵道によりてフランス領インドシナに出づべく、西に向へば、大理を経て、パルマに出づべし。支那本部の南部は、西江の流域及び臺灣海峽、南支那海の沿岸地方を占む。福建省は臺灣海峽に臨み、港灣多く、閩江の下流には省城福州あり。廈門島の西南隅には廈門の良

福州(閩侯) 廈門(思明) 福州に我總領事館、廈門に我領事館あり。

廣東、福州等には舟居を營むもの甚だ多し。

廣東(廣州、番禺)に我總領事館、汕頭に我領事館あり。

閩江を隔てて福州を望む



港あり。二市共に開港地にして、茶の輸出盛なり。此等の諸港は臺灣に近きが故に、我國と通商其他の關係密なり。

廣東、廣西兩省の大部は珠江の流域にあり。珠江の下流は複雑の網狀をなして、三角洲の間を流れ、廣東灣に入る。流に沿ひて、廣東省に省城(人口約九〇萬)あり。支那南部第一の大會にして、生絲は輸出の大部を占め、茶、蓆等之に次ぐ。灣口にはイギリス領のホンコン(香港)島あり。東部の汕頭は開港市にして、南部の雷州

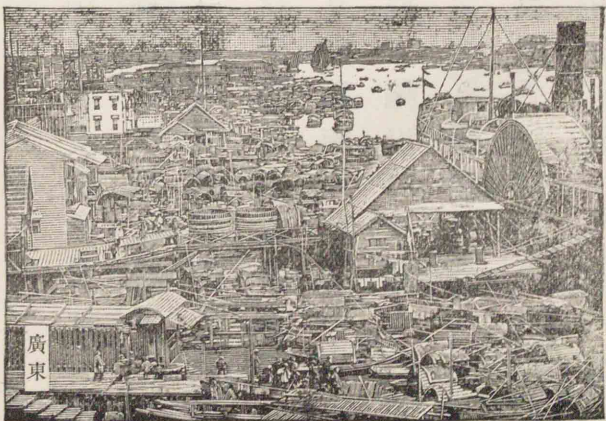


半島の東なる廣州灣附近はフランスの租借地なり。海南島は天蠶絲を産す。桂林は廣西省の省城をなす。又インドシナの境に近く貿易市龍州あり。

其二 蒙古

蒙古は支那の北部に位し、高臺をなし、ゴビ沙漠其中央に横はりて、之を内蒙古と外蒙古とに分つ。土地多くは不毛にして、沙漠にあらざれば草地をなし、住民甚だ少く、主として遊牧を業とし、水利のある所、纔に土著して農業を營む。

内蒙古は數多の部落に分れ、酋長たる王公之を治めしも、



面積約二十三萬方里。  
人口約百八十萬。

東部内蒙古に於て我國人の支那人と合同して農業及び附隨工業を經營する場合には支那政府は之を承認することとなれり。

特別區域には熱河、察哈爾、綏遠の三域あり、都統を置きて、之を治む。

赤峯に我領事館を置く。

内蒙古の西部なる西套蒙古は甘肅省の寧夏に駐在する護軍使の管轄に屬す。

蒙古人と其天幕



入せられし所少からず。都邑の主なるものには、北京の東北に熱河あり。西遼河上流地方には赤峰ありて、其中心都市をなし、交通の衝に當る。多倫諾爾は張家口の北北東にありて、有名なる喇嘛廟あり、商市亦盛なり。外蒙古は自治を行ひ、喇嘛教主活佛は、行政、兵馬の權を統ぶ。庫倫(ウルガ)は外蒙古に於ける政治、商業及び宗教の中

支那

臺



面積約九萬二千  
方里。  
人口約二百萬。

タリム盆地の  
沙漠の中より  
は、古代都邑の  
埋没せるを發見  
することあり。

新疆省は文化未  
だ普及せず、一  
般に遊牧行は  
れ、一部には農  
業の業行はる。

馬賣の茶るけにタフヤキ



心をなし、喇嘛教の大寺院あり。シベリヤとの境には買賣城あり、纔に木柵を隔てて、彼のキフタに對し、貿易盛に行はれ、主として茶を輸出す。

其三 新疆省(伊犁)

支那の西端に位し、天山山系省内を横斷して、之を天山南路、天山北路に分つ。天山南路の中央にはターリム(塔里木)盆地の沙漠ありて、其周圍の地纔に開く。カシガル(疏勒、舊稱喀什噶爾)は西部アジヤに出づる街道の要衝に當り、其東南にはヤルカン(葉爾羌、ホタン)和闐等あり。ホタンの附近の地よりは有名なる崑崙の玉を出し、又砂金の産あり。天山北路には省城

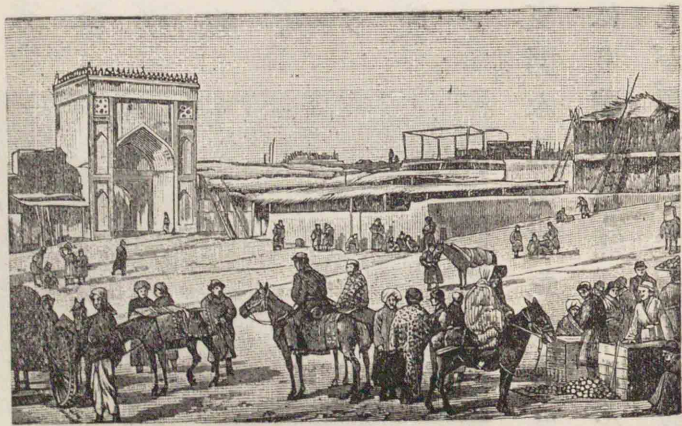
迪化(烏魯木齊)あり。イリ川沿岸の地亦よく開け、其ロシアの國境に近きクルヂ(固爾札)は、天山北路の門戸をなす。

其四 青海

支那の中央にありて、崑崙山系域内を横斷し、青海其東北部に湛ふ。土地高くして、荒漠なれば、住民極めて少し。

其五 チベット(西藏)

ヒマラヤ、崑崙兩山系の間に横はれる世界第一の高原にして、沙漠、鹹湖等多く、夙に世界の秘密國と稱せられ、其稍開けたるは、南部の一地方のみ。住



街市のンタホ

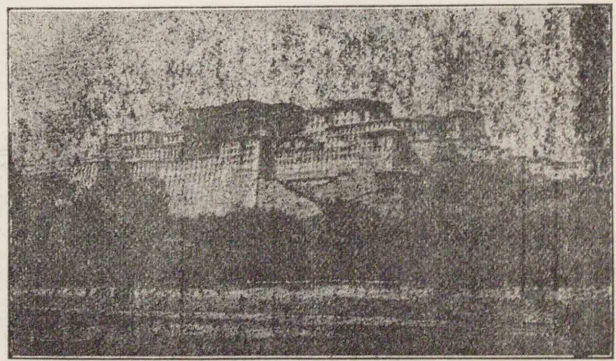
青海の政務は甘肅省の西寧に駐在する青海辦事長官之を統ぶ。

面積青海を含み  
て約七萬八千方  
里。  
人口青海を含み  
て約二百萬。





民は多く犛牛及び羊を牧す。ラッサはブラマブトラ川の支流に沿へる都會にして、附近に達賴喇嘛の莊嚴なる宮殿あり。達賴喇嘛は住民の信仰せる喇嘛教の教主なり。支那政府は官吏を派遣して、チベットの政治を監督す。インドとの境に近く、亞東の貿易市あり。



喇嘛教主の宮殿

近年イギリスは此國に軍隊を入れ、相約して其承諾を得るにあざれば、外國官吏の此國內に入ることを得ざらしめたり。

九列國の領地租借地。威海衛は支那本部の東北部山東半島の北岸にあり。劉公島其前に横はり、灣形自然の形勝を占む。此地は嘗て支那の軍港たりしが、明治二十七八年戦役

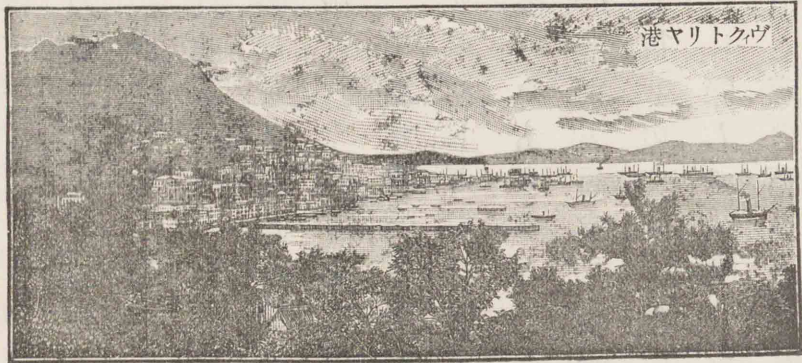
の時に破壊せられ、其後イギリスの租借地となりて、今に至れり。

廣州灣は支那本部の南部なる雷州半島の東岸にあり。フランスは他の

列強との均勢を得んがために、此附近の地を租借せるものにして、其インドシナにある領地に近く、有利の位置を占む。

ホンコン(香港)は廣東灣口にある小島にして、イギリスに屬す。對岸九龍との間は東洋有数の良港にして、太平洋航路の終點をなし、又インド洋南洋航路の衝に位し、世界交通の幹線に當る。

ホンコンに我總領事館あり。



支那



我國よりホンコンに絹絲、石炭、汽船、水産物、小麥粉等を輸出す。

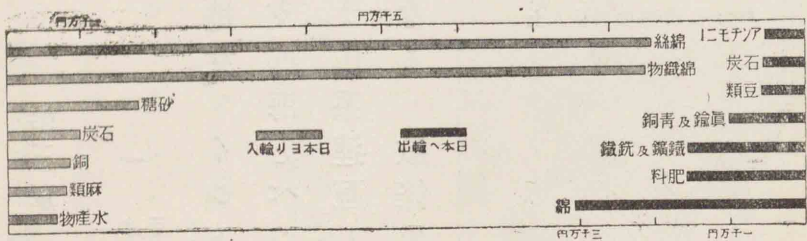
港市をヴィクトリアと云ひ、イギリスの東亞に於ける商業及び軍事の中心たり。此港は自由港にして、中繼貿易盛に行はれ、我輸出品の一且此處に送られて、再び輸出せらるゝもの少からず。島の對岸なる九龍半島の南端も、今はイギリスの領地となり、其附近六十餘方里の地も、亦其租借地となれり。

マカオ(澳門)は廣東灣の西南海岸にありて、約四百年前よりポルトガルの領地たり。土地狹小にして、今は其商業の見るべきものなし。

支那と日本。兩國は同文の國にして、最も古くより交通し、彼我の文明は互に盛に交換せられ、殊に近年東洋多事の日の際して、我國は曩に福建不割讓を約せしめ、關東州を租借し、或は滿洲東部内蒙古等に於ける鐵道、水運、鑛山等の利

我國より此國に輸出せらるゝ水産物は、昆布、鰯、海參、寒天等なり。

支那と日本との主要貿易品價額比較



權を得、或は揚子江流域地方の鑛業、交通業に投資し、又近く世界大戰の結果、山東に於てドイツの利權を繼承せんとせるが如き、彼我の關係愈深きを加ふるに至れり。此國と我國との貿易は甚だ盛にして、我は多く綿絲、綿布、砂糖、石炭、銅、麻類、水産物等を輸出し、綿、豆、糟、鐵、鑛、大豆、アンチモニー、鶏卵等を輸入す。又我國の此國に對する輸出の價額は我全輸出價額の五分の一を超え、此國に於ける我商品の輸入額と、我商船の出入噸數とは、遙に他の諸國に優れ、此國は實に我商品の大顧客たり。我商人は益此好市場を開拓せざるべからず。



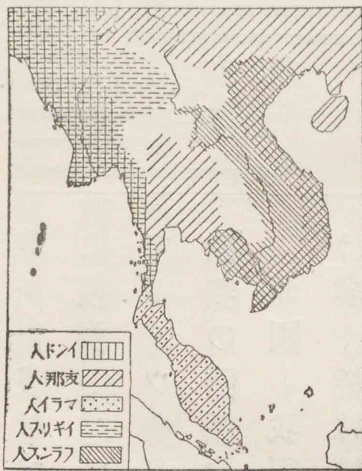
第三章 南部アジア

一 インドシナ半島

INDO-CHINA

●地文。インドシナ半島はアジア大陸の東南部に突出し、南支那海とベンガル灣との間に挟まる。中央にはインドシナ山系連亘し、其餘脈南に延びて、更に細長きマライ半島となる。數條の大河は南流し、其沿岸には豊沃なる平野ありて、多く米を産す。我國に輸入せらるゝ外國米は概ね此地方より出づ。又山間には森林深くして、有用の木材に富む。此地方は季節風帯に入り、雨量甚だ多く、一年は乾季

インドシナ半島に於ける土人の族種の分布



りて、多く米を産す。我國に輸入せらるゝ外國米は概ね此地方より出づ。又山間には森林深くして、有用の木材に富む。此地方は季節風帯に入り、雨量甚だ多く、一年は乾季

雨季に分る。

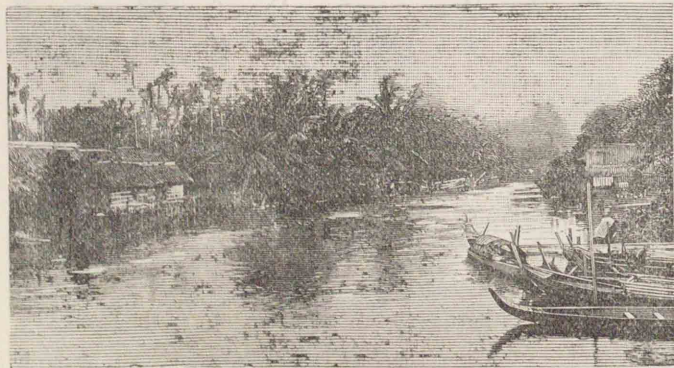
●人文。住民は半島固有の土人の外に、支那人、マライ人、インド人等多く、其雜種亦少からず。半島の東部はフランスの最も重要な領土をなし、西部と南部とはイギリスに屬し、シム王国其間に挟まる。

其一 フランス領インドシナ

FRENCH INDO-CHINA

フランス領インドシナは交趾支那(コシエンシーヌ)植民地とカンボヂ、アンナン(安南)、トンキン、ラオスの四保護國とより成る。

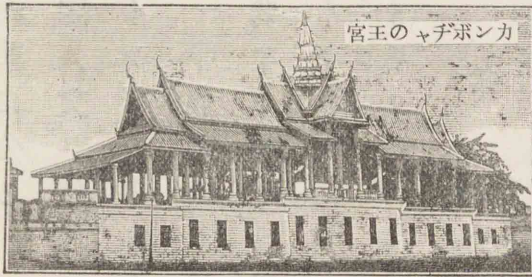
面積約四萬三千  
方里。  
人口約千七百  
萬。



アンナンに於ける河畔の村落



ハイフォン(海防)に我領事館を置く。



●**トンキン** Tonkin。最北部にありて、直に支那本部に接し、又トンキン灣に望む。ソソンコンイ川は域内を灌ぎ、其下流にハハノノイイ(河内)あり。フフラランス領インドシナ總督府の所在地なり。又其河口にはハハイイフフンン港ありて、ハハノノイイの咽喉をなし、米、生絲等を輸出す。鐵道はハイフンよりハノイを經、支那の雲南に至る。

●**アンナン** Annam **ラオス** Laos。アンナンは南支那海に沿うて、長く横はり、アンナン山脈、國內に連亘す。首府ユユエエ(順化府)には王城あり。ラオスはアンナンの西に隣る。領内の最も開けざる地なり。

●**カンボヂヤ** Cambodia **交趾支那** Cochin-China。共に半島第一の大川なるメコン川の下流にあり。土地豊沃に

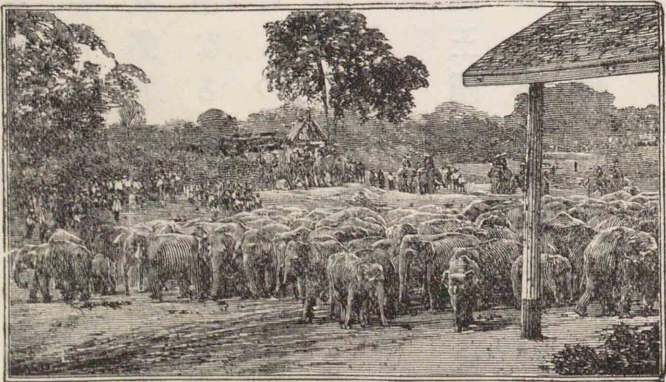
サイゴンに近くシロンの市邑あり。

して、多く米を産し、又綿砂糖等を輸出す。カンボヂヤの王城はブブノノムムペンペンにあり。交趾支那の首府サイサイゴゴンはメコン川下流の平野にありて、領内第一の商港をなし、我國へは多く米と綿とを送る。

其二 シヤム Siam

面積約三萬三千方里。我國の七割半に當る。

●**位置、地形、産業**。シヤムはインドシナ半島の中央に位す。南はシヤム灣に臨み、西境にはインドシナ山系の一部高く聳えて、森林深く、其北部は盛にチーク材を出す。中部にはメナム川流れて、其下流の平野には米の

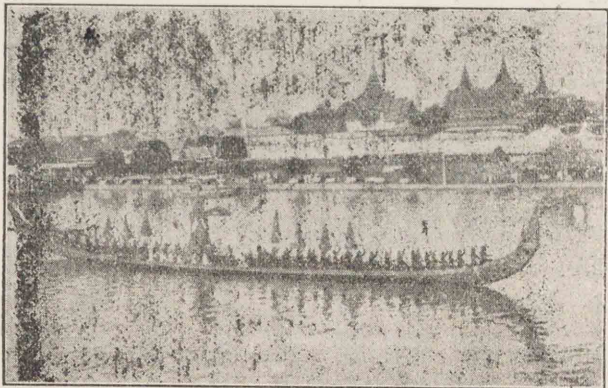


群の象野るたれらせ獲狩



人口約八百八十萬

バンコクに我公使館あり、又領事を置く。



産甚だ多く、チーク材と共に主要なる輸出品をなす。又國內には象多く、水牛と共に重要な家畜たり。

●住民政治。住民はシム人の外に支那人、マライ人等多く、

支那人は懶惰なる土人に代りて、農業、商業を営むもの少からず。佛教盛に行はれ、寺院には壯麗なるものあり。

此國は専制王國にして、軍備は振はざれど、財政は裕なり。近年頻に先進諸國の文明を輸入し、諸制度の改善に努む。

首府バンコク人口約六三萬はメナム川の下流に臨み、政治、商業の中心をなす。

バクナムは我が汽船の寄泊地なり。

我國は屢此國の軍艦を造り、又我國のマツチは外商の手を経て此國に輸入せらるゝもの少からず。

河口にはバクナム港あり。

●シムと日本。シムは徳川時代の初期に、山田長政が在留の同胞と共に功名せし處なり。我鎖國以來渡航者殆ど絶えたりしが、今は通商條約を結び、我國は此國より米チーク材を輸入し、此國へ絹布を輸出す。

其三 イギリス領インドシナ

イギリス領インドシナはバルマ海峽植民地、マライ聯邦に分たる。

●バルマ。バルマは半島の西部、ベンガル灣の岸にあり。サルウィン、イラワヂの二川域内を貫流す。夏季特に雨量の多きことは、インドと共に世界第一にあり。山地にはチーク材、紅玉を産し、平野には米の産夥し。

面積約四萬方里。人口約千二百萬。バルマにては木材の運搬に象を使役す。



ランゲン米は我國へも輸出せらる。

イラワヂの川筋は古來水陸交通の要路にして、今は汽船遠く上流の地方に至り、鐵道も亦既にランゲンより起りて支那雲南省の門戸に及べり。

此地方は、行政上インド帝國の一部をなす。首府ランゲンはイラワヂ川の三角洲にあり。此國第一の商港にして、米の輸出極めて多し。國の中央イラワヂ川に臨みてマンダレーの舊都あり。寺院の壯觀を以て著る。

海峽植民地、マライ聯邦

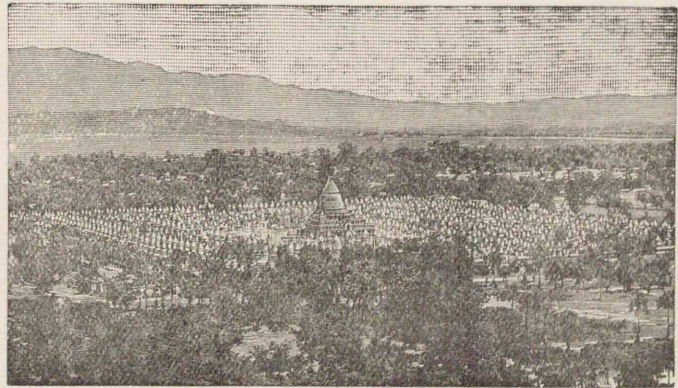
Federated Malay States

Strait Settlements



ゴム液採取

海峽植民地はマライ半島の南部にあり。マラッカ、ピナン、シンガポール及び其附近の地方を含み、行



塔經切一のレダンマ

シンガポールに我總領事館あり。シンガポール及びピナンには我郵船寄航す。

我國はシンガポールに石炭、木材、汽船等を輸出し、此地よりゴム、米、コブラ等を輸入す。

政上特に此植民地に總督を置く。其背後の地はマライ聯邦にして、イギリスの保護を受く。種々の農産物、ゴム、コブラ、香料等を産し、我國人のゴム栽培に従事するもの少からず。又錫の産に富み、世界産額の約二分の一を出す。支那人の此地方に移住せるもの甚だ多く、全人口の半を超ゆ。

シンガポールは半島の尖端に近

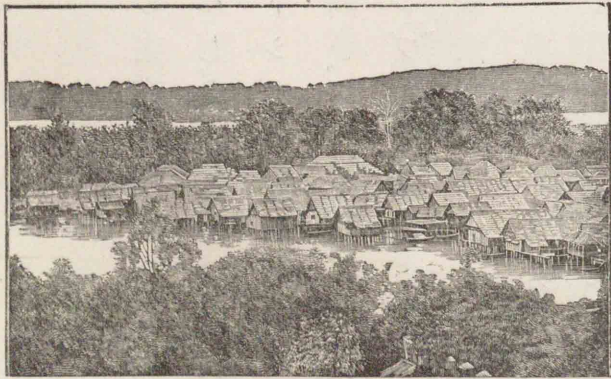
Singapore

き同名の小島にある港市にして、東西交通の要衝に當り、貿易甚だ盛なり。

ピナンは植民地の西北端にある小嶼にして、半島に面して良港を

Penang

なす。



色特の地此は落村の居住上水)近附ルノガンシ



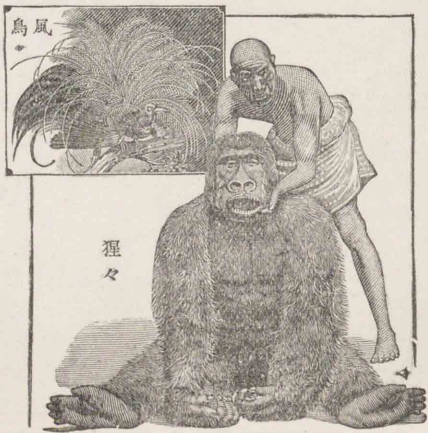
## 二 マライ諸島 MALAY ARCHIPELAGO

ジャバ島の東部なるケルト火山は近時爆裂し夥多の家屋を破壊し死傷者數萬人に及べり。

ジャバ島の東部なるケルト火山は近時爆裂し夥多の家屋を破壊し死傷者數萬人に及べり。

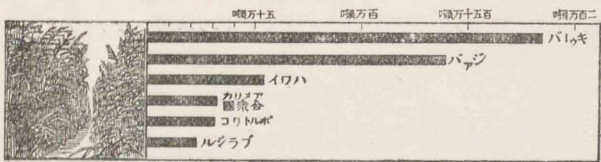
●位置。マライ諸島はアジア大陸の東南に横はりて、オーストラリアに移る飛石の如き形をなし、大小無數の島嶼より成る。其配列の状を見るに、インドシナ半島の西南にあるアンダマン諸島より起り、東南に向ひ、スマトラ、ジャバの諸島を経て、東に向ひ、漸く轉じてセランブルの諸島に至る。此間一大列島の弓形をなして連れる状は、宛も大陸の上大山系の横はれると異なることなく、數多の火山亦此列島に沿ひて噴出し、殊にジャバ島に甚しく、其數百以上に及ぶ。又此島の北にはボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島、フィリピン諸島あり。此セレベス島、フィリピン諸島にも亦火山多く、其脈延いて我國に及べり。

●氣候、生物界。赤道は正に此諸島を横斷せるが故に、此地方は溫度高く、且濕氣に富み、熱帶植物よく繁茂し、有用植物に富む。古來香料の産に名高く、チーク材、籐、米、サゴ、コブラを産し、近年盛に砂糖、珈琲、煙草、規那等を出す。猩々、風鳥、極樂鳥の珍奇なる動物亦乏しからず。



●住民所屬。住民は主として海岸島嶼種族にして、支那人も少からず。文明の程度尙低く、回教多く行はれ、又種々

甘蔗糖産額比較



規那



●住民所屬。住民は主として海岸島嶼種族にして、支那人も少からず。文明の程度尙低く、回教多く行はれ、又種々



と人クヤイダの島オネルボ  
人トリグネの島諸ンソッリイフ

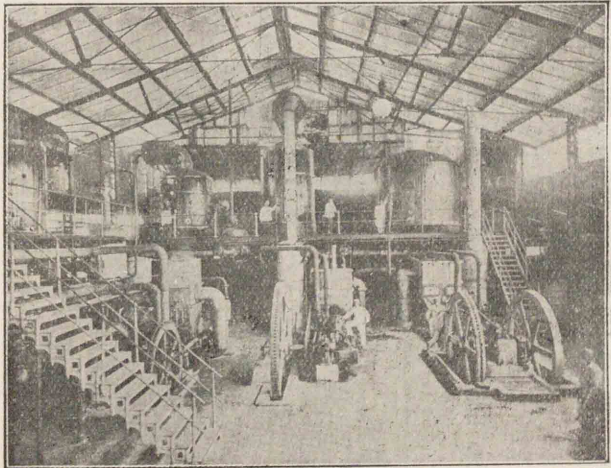


の異教を信するものあり。  
オランダは諸島の大部分を領  
し、アメリカ合衆國はフリッピン諸  
島を、  
イギ  
リス

はボルネオ島の北部を、ポルト  
ガルはチモール島の東北部を領  
せり。

④地方誌。ジャヴァ島は産物に富

み、其人口の多くして、よく開け  
たること、遙に他の諸島に優る。  
米砂糖、珈琲、茶、規那の産多く、規



場糖製のァヅァジ

人口約三千四百  
萬。密度甚だ大  
にして我國平均  
密度の約二倍に  
及べり。

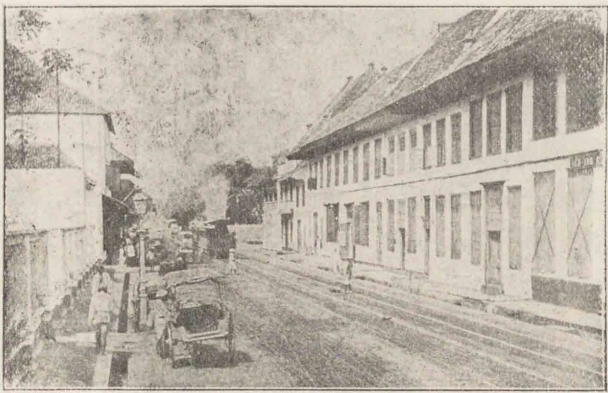
パタグイヤに我  
總領事館あり。  
此地は約四百年  
前にオランダ人  
の開きし都會な  
り。

スラバヤに我領  
事館あり。

ジャヴァより粗  
製糖を、スマト  
ラより石油を我  
國へ輸出す。

ボルネオ島の土  
人の中には、歐  
の蠻風を存する  
こと、我臺灣の  
蕃人に似たるも  
のあり。

街市のヤイヅタバ



那の産は世界全産額の七割に及ぶ。  
其西北海岸なるバタヴィヤはオラン  
ダの東インド總督府の所在地なり。  
附近にボイテンゾルグ大植物園あ  
り。島の中部にサマラン、東部にスラ  
バヤの港市あり。三者共に我汽船の  
寄泊地なり。

スマトラ島は別に胡椒、石油を産  
し、其傍にあるバンカブリツンの二  
島は共に多く錫を出す。ボルネオ

島は世界第三の大島にして、我本州の三倍に餘れり。内地は  
未だ開けず、都邑は纔に海岸の地方にあり。石油、サゴ等を其  
物産とす。北部にはサンダカンの名邑あり。附近に我國人



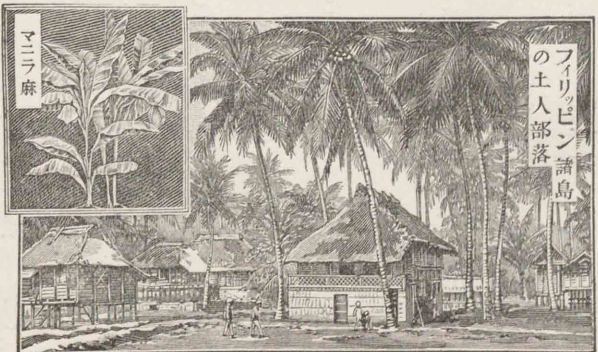
モルッカ諸島は  
一に香料諸島の  
名あり。

面積約二萬方  
里。  
人口約九百萬。

フィリッピン諸  
島より我國へ粗  
製糖、マニラ麻  
等を輸出す。

マニラに我總領  
事館あり。此地  
は我汽船の航路  
に當る。

のゴム園あり。セレベス島は其形の「ひとで」に似たるによ  
りて知らる。良好なる珈琲を出し、又海參、鼈甲、其他の水産物  
あり。東北岸にメナドの名邑あり。其附近に我國人の經營せ  
る椰子園あり。モルッカ諸島は香料の  
産地として名あり。其主島をジロロ島  
と云ひ、地形セレベス島に似て小なり。  
フィリッピン諸島はバシ海峽を隔て  
て、臺灣の南にあり。諸島中、ルソン島最  
も大きく、ミンダナオ島之に次ぐ。其東  
岸に近く世界最深の海淵あり。島は  
もとイスパニヤ領なりしが、今はアメ  
リカ合衆國に屬す。首府マニラはルソ  
ン島の西岸にある良港にして、砂糖の



フィリッピン諸  
島の東方に位せ  
る海溝は最深九  
千七百八十米に  
及ぶ。

面積約二十五萬  
方里。

外に有名なるマニラ煙草及び製綱原料のマニラ麻を輸出  
す。又各地にココ椰子を栽ゑ、コブラを産す。太平洋を横斷  
せる海底電線は、ルソン島よりグム島を経て、アメリカ合衆  
國のサンフランシスコに達す。ミンダナオ島のダヴオは  
我國人の經營にかゝる農林業の一中心をなし、ザンボアン  
が日本郵船會社汽船の寄泊地なり。

### 三 インド(印度)

INDIA

●**境域。** インド洋中に突出せる三角形の大半島にして、東  
にベンガル灣、西にアラビヤ海あり。北はヒマラヤ山系、西北  
はヒンヅークシ、スリマン等の山脈によりて境せらる。面  
積は我國の五倍に餘り、大部分イギリスに屬す。

●**地形。** 海岸は單調にして、半島の尖端に近くセイロン島



あり。其間の海峡は極めて浅く小嶼連りて、所謂アダム橋を  
なす。 Adam's Bridge

エヴェレスト山  
は海拔八千八百  
四十米に及び、  
富士山の二倍に  
餘れり。

インドの三大河  
は皆源をヒマラ  
ヤ山系に發す。

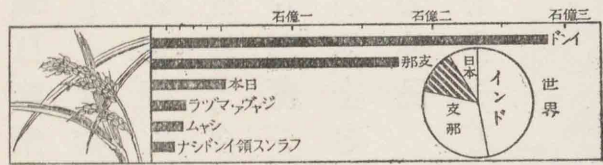
ヒマラヤ山系は南へ彎曲せる弓形を畫き、甚だ高峻にし  
て、世界第一の高峯エヴェレスト山を戴く。山系の南麓には熱  
帯の森林深けれど、頂上には四時白雪絶えず、壯大なる氷河  
あり。

ヒマラヤ山系の南には、ヒンドスタンの大平原あり。西部  
は沙漠をなせる處あれど、其他は極めて豊沃にして、古來人  
文發展の中心をなせり。インヅス川とブラマプトラ川と  
は、各ヒマラヤ山系の北方に起りて、反對の方向に流れ、山系  
の兩端より折れて平原に出で、インヅス川はアラビヤ海に  
入り、ブラマプトラ川は、山系の南腹より來れるガンガ川と  
合して、下流に大三角洲を造り、遂にベンガル灣に入る。

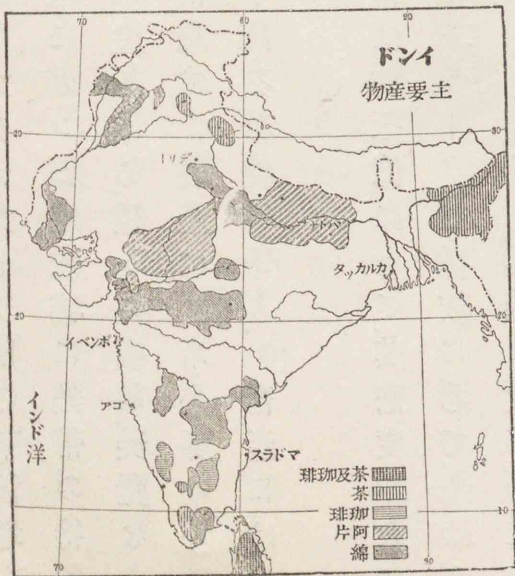


(峰高の—第界世) 山トスレヅエの系山ヤラヤヒ





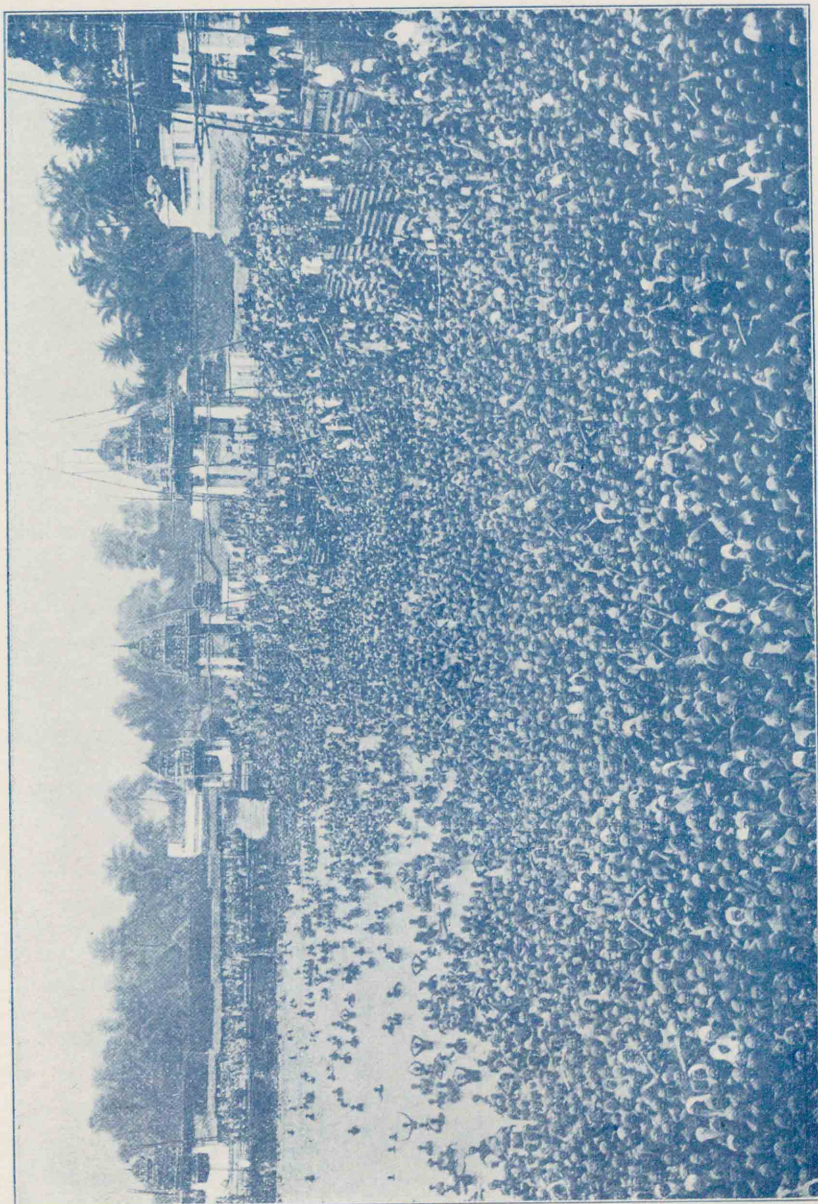
米産額比較



平原の南には更にデカン高臺あり。其西端は海岸に急斜して、西ガツ山脈をなし、東方に至るに従ひて、地勢次第に低く、東岸の東ガツ山脈は低き隆起をなすに過ぎず。されば高臺の河川も多く東流せり。

● 氣候、天産。

半島の大部は熱帯に入るが故に、平原は暑氣甚しけれど、山地は溫和にして、避暑に適す。又夏季、西南季節風の吹く



ベナレシヒに於ける一教徒の沐浴



インドにては猛獸、毒蛇のため人畜の傷害せらるゝもの年々少からず。

頃は、降雨甚しく、ブラマ、プトラ川の下流地方は雨量最も多し。生物は殊にガンガ川流域に熱帯の特色を現し、森林極めて深く、象、犀、虎を始め、種々の猿類、美麗なる鳥類、恐るべき蛇、鱷等多く棲息す。農産には米、小麦の外に綿、油種、珈琲、阿片、洋藍、ジュート麻、茶、砂糖等あり。畜産には牛多く、鑛産には石炭、金等あり。

④ 住民。人口は約三億にして、其密度亦大なり。住民の最も古きものは、ドラヴィダ種族にして、今はデカンの一部に住し、其餘の大部分殊にヒンドスタ



族種ダイヴラド

平野は西北より侵入し來れるヒンヅ一種族に占めらる。ヒンヅ一種族は僧士、農商、奴隸の四大族に分れ、更に分れて數多の階級を生じ、其別甚だ嚴なり。



族種アーンロ

り。農業、商業を勵み、又古來工藝に巧にして、寺院等の建築に見るべきもの多し。貿易は盛にして、イギリス本國は其輸出入の首位を占む。

半島の文明は遠く上古に發達して、文學、宗教甚だ盛なりしかど、今は振はず。佛教は此地に興りしが、今は大に衰へ、住民の多數はヒンヅ一教を奉じ、回教之に次いで多く信ぜらる。

⑤ 政治。イギリスは半島の大部分を領し、バルマ等を併せて、之をインド帝國と稱し、イギリス王はインド皇帝を兼ね、總督を派遣して、之を治めしむ。帝國は更に直轄州と藩屬地とに分れ、直轄州は總督の任命せる知事之を治め、藩屬地は舊來の諸侯、イギリスの駐在官の補佐を受けて、之を治む。

ヒンヅ一教は又インド教とも云ふ。

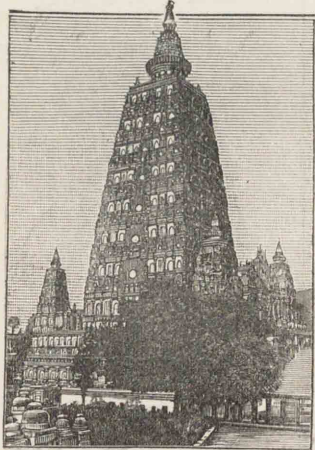
藩屬地の主要なるものは四十餘あり。デカン高臺の中央にあるハイダラバード侯國は其殊に大なるものなり。



⑥交通。交通はイギリス人の経営によりて大に發達し、鐵道は河川運河と相俟つて、便利多し。又極東より來れる電信線は半島を經由して、或は陸上ペルシヤに向ひ、或はアラビヤ海、紅海の海底によりて、ヨーロッパに向ふ。

⑦地方誌。半島の最も樞要なる地方はヒンドスタン平原にして、殊にガンガ川の流域はよく開け、人口最も密にして、都邑甚だ多し。首府デリーはガンガ川上流の地方にあり。近古ムガル帝國の都たりし處にて、壯麗なる建築に富み、今

塔大のヤガダブ



は總督府の所在地なり。ベナレスはヒンヅー教の靈都にして、多數の信者はガンガ河水に沐浴して潔齋す。パトナは阿片、米等の集散に名高し。ブダガヤは釋迦成道

カルカッタに我  
總領事館あり。  
市は又日本郵船  
會社汽船の定期  
航路の終點な  
り。  
カルカッタの北  
方にはダーヅリ  
ンクあり、海拔  
二千米以上の高  
地に位し、避暑  
地をなす。

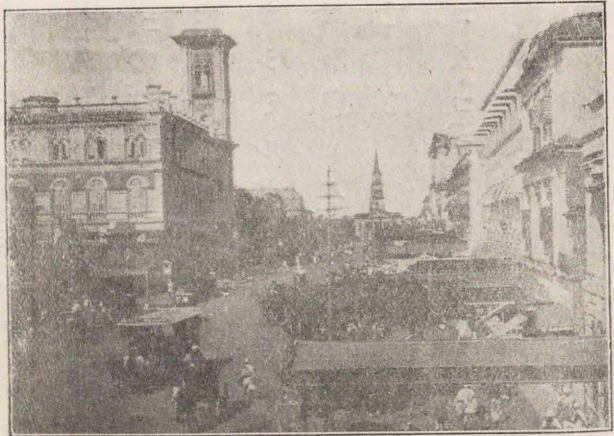
ラホールラホールの東方  
にシムラあり。  
亦海拔二千米以  
上の高地に位  
し、避暑地とし  
て其名著れ、夏  
季にはインド總  
督の駐在地とな  
る。

の地にして、附近に遺跡多し。ガ  
ンガ川の三角洲にカルカッタあり、  
接續市を含みて人口百二十餘萬



イメンボ

に及び、商業  
盛なり。イ  
ンドス川の  
上流地方を  
パンジブと  
云ひ、農産に  
富み、其ラホ  
ールは交通の衝に當り、又小麥を集散  
す。其西北國境にペシワルあり。西部ア  
ジャに出づる關門をなす。



メッカルカ



ホンベイに我領事館あり。市は又日本郵船會社汽船の定期航路の終點なり。ホンベイの東北にアジャンタ洞窟あり、佛畫、佛像多し。

畫佛の窟洞タシジャ



面積約四千里。人口約四百六十萬。

り。島内山がちなれど、産物に富み、ゴム、コブラ、肉桂、黒鉛、種々の寶石を産し、又近年多く茶を出し、ヨーロッパに於ける支那茶の顧客を奪へり。西北のマナール灣には眞珠の産あり。

インドス川の口に臨みカラチの商港あり。半島の西海岸にあるボンベイ人口約九八は此國第二の都會にして、綿の大輸出港をなし、紡績工業亦盛なり。東海岸にはマドラス人口約二の港市あり。又ヒマラヤ山中のカシミルにスリナガルありて、カシミル織を産す。

●セイロン島。イギリスの植民地にして、別に置かれたる總督あり。

コロンボに我名譽領事を置く。此地に我郵船寄航す。

フランス領  
マエ  
シヤンテルナ  
ゴル  
ヤナオン  
ボンヤシエリ  
カリカル  
ポルトガル領  
ゴア  
ダマン  
ヂウ

島の西岸にあるコロンボ港はインド洋航路の商船の寄航地にして市況繁盛なり。

●イギリス領以外の地。ヒマラヤ山間には、ネパール、ブータンの小獨立國ありて、酋長之を治め、今尙國を鎖せり。アラビヤ海とベンガル灣との沿岸及び其附近には、フランスとポルトガルとの領地あれど、何れも其區域極めて狭し。

●インドと日本。インドに起れる佛教は支那、朝鮮を経て、我内地に傳はり、之と共に古來インド文明の傳來せるもの少からず。今は我國は此國に特に郵船の航路を開きて、盛に



(よ見を根氣るな大長)樹榕の島ンロイセ



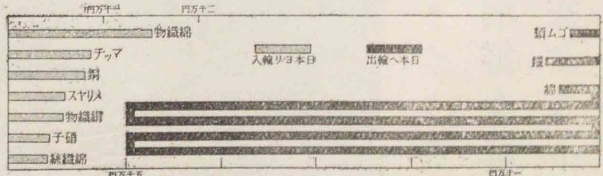
我國主要の工業たる紡織業に要する綿は其大部分を此國に仰ぐ。

綿、鉄鐵、ゴム等を輸入し、此國へ綿織物、マツチ、銅、メリヤス、羽二重、硝子等を輸出し、貿易口に進あり。

### 第四章 西部アジヤ

#### 一 イラン地方

●**總説** イラン地方はインド半島の西に隣れる三角形の高臺にして、スリマン山脈此境にあり。北にはヒンヅークシ、エルブルズの二山脈蟠り、西南海岸にはイラン山脈連る。かく山に圍まるゝが故に、内地の高臺は概ね沙漠をなし、氣候酷熱なり。従つて主として遊牧行はれ、唯高臺の邊縁の稍豊沃なる處にのみ、農業行はれ、穀物、果實、綿、阿片等の産あり。住民はイラン種族多くして、回教を奉ず。此地方



面積約四萬方里。人口約六百

此國とインドとの國境にはカイベル越の險あり。

面積約二萬二千方里。人口約八十萬。

面積約十萬方里。人口約九百五十萬。

此國の婦人は、一般に男子に顔を隠せる風あり。外出の際には薄絹にて顔を被ふ。

人婦ヤシルベ



一 イラン地方

全

を分ちて、アフガニスタン、ベルチスタン及びペルシヤとす。

●**アフガニスタン**。高臺の東北部を占め、北部は殊に山がちなり。カブールの酋長、國を治むれど、勢力大ならず。首府カブールはインドより中央アジヤに出づる交通の要路に當れり。

●**ベルチスタン**。アフガニスタンの南に隣り、イギリスの領地と保護地とに分れ、保護地はケラットの酋長等之を治む。ケッタはイギリス領にありて、インドよりアフガニスタンに至る通路に當る。

●**ペルシヤ**。イラン地方の中部以西の大部分を占むる王國にして、一時憲法を布きしも、今は憲政を中止せり。國民は農牧の外に、工藝を勉め、絹織物、敷物を産す。



首府テヘランは北方の山地にあり。其市街は道路の不規則にして、迷走せるを特色とす。國の西境に近くタブリーズの商市あり。ペルシヤ灣岸にはブシールの港市あり。

### 二 アジヤトルコ

●位置。アジヤの西端に位し、イラン高臺の西に連りて、地中海、黒海の海岸に及べる地方を占め、マルモラ海を隔てて、ヨーロッパに對す。之をアルメニヤ、小アジヤ、メソポタミヤ、シリヤ、パレスチナ等に分つ。其大部分は將來國際聯盟の管理に歸し、トルコは小アジヤの一部分を領するに



面積約十二萬方里。  
人口約千九百萬。

止まらんとす。

●アルメニヤ、イラン地方に連り、高臺をなして、山嶽多し。住民は農、牧に従事すれど、其國外に移住して、各地にあるものは、商業に巧なり。



人ヤニメルア

●小アジヤ。アルメニヤの高臺より西に延びたる半島にして、タウルス山脈南岸に聳え、内地は高臺をなし、穀物、果實、生絲の産あり。アンゴラ、コニヤは内地の都會なり。高臺の

西端は數多の小半島をなし、其間にスミルナの良港あり。交通、商業甚だ盛にして、乾葡萄等を輸出し、又其附近より多く寶石を産す。西北端のスクタリはボスフォラス海峽を隔てて、コンスタンチノーブ

族種コルト



小アジヤの西南部はギリシヤに割讓せられ、南部の大半はイタリヤの委任統治に歸せんとす。



南方のサイプ  
ラス島はイギリ  
スに属す。

メソポタミヤ地  
方の河川に浮べ  
る圓舟は樹枝を  
編みて作り、外  
面には地漚青を  
塗り、之を操縦  
するに楫を用  
ふ。

川スリグチとドリダグバ



に對し、交通の要衝に當る。其附近なるハイダルパシャを起  
點し半島を縦斷せるバグダード鐵道は、もとドイツの敷設  
せしものにして、近時國際聯盟の管理に屬せんとす。

住民の主なるものは、トルコ種族  
なれど、海岸にはギリシヤ人多く、商  
權は専ら其手にあり。沿海には島嶼  
少からず。

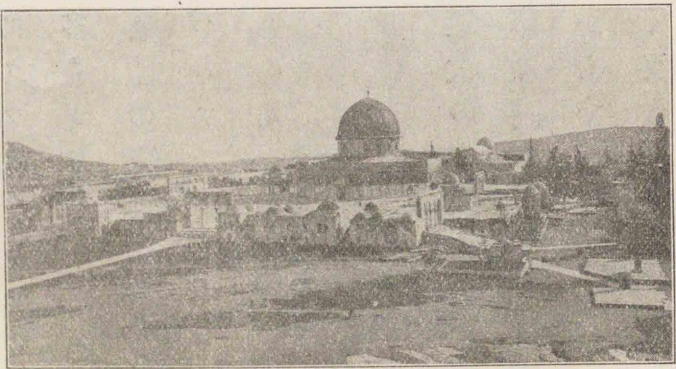
④ **メソポタミヤ**。アルメニヤ高臺  
より南に流る、チギリス、エウフラ  
テス二川の流域にある平原の地に  
して、此二川は其南端に相合して、シャ  
トエルアラブ川となり、ペルシヤ灣  
に注ぐ。チギリス河岸のバグダー

メソポタミヤ平  
原には昔バビロ  
ニヤ、アッシリ  
ヤの二國興り  
て、大に榮えし  
ことありしが、  
今は唯其遺跡の  
存するのみ。

ドは中古回教國の首都たりし處にし  
て、メソポタミヤ第一の都會なり。此  
地方は大戦に於てイギリス軍の大に  
戦ひし處にして、近時國際聯盟管理の  
下にイギリス委任統治を行はんとす。

⑤ **シリヤ、パレスチナ**。地中海の東岸  
にある帶狀の地なり。西南部には山  
脈の間を縦走せる地溝ありて、ヨルダ  
ン川及び死海其内にあり、死海は其水

亦極めて鹽分に富み、魚類を産せず。其  
水準地中海より約四百米低く、此附近  
は地表第一の低地をなす。地溝より西方地中海に至る間  
をパレスチナと稱し、ユダヤ人の郷土にして、キリスト教勃



▲レサルエイ



人ヤダユ



リヤ内地はフランス委任統治を行ひ、パレスチナはイギリスの委任統治の下にユダヤ國建設せられんとす。

三 アラビヤ

ARABIA

●總説。アジヤの西南部にある世界最大の半島にして、細長き紅海を隔てて、アフリカに對す。西岸は高くして、東に低く、多くは沙漠なれど、其間に沃地乏しからず、河流なきにあらざれど、一年中絶えず水あるものなく、又大河の海に注ぐ

興の地なり。イエルサレムはキリストの墳墓のある處にして、巡禮者常に絶えず。ダマスクスはシリヤの中心をなし、隊商多く來り集る。近時此地方は國際聯盟の管理に歸し、シ

ものなし。

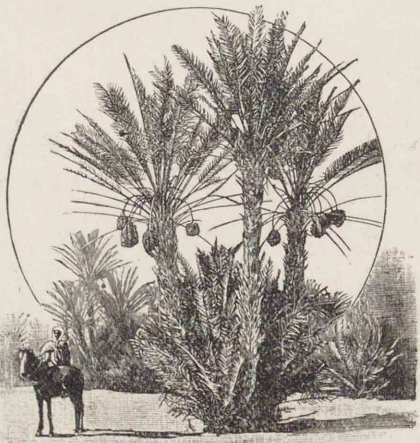
海岸地方は、多少の降雨ありて、棗椰子、ゴム等を産す。殊に半島の西南部は、夙くより珈琲の産に名あり、又有名なるアラビヤ馬を始め、駱駝、羊の類を養ひ、

ベルシヤ灣には眞珠を産す。

半島の住民なるアラブ種族は、其文化の

程度低く、數多の部落に分れて、統一せず。

●地方誌。北部のシナイ半島はエジプトに屬し、東部アラビヤ海岸にオマンの酋長國あり、其他海岸の地方は多くトルコ領な



子椰棗

アラビヤ人は天幕に住し、最も馬を愛す。又駱駝に乗り、隊商を結びて貿易す。此種族は昔は遠く地中海沿岸の地方に勢力を振ひ、學術、技藝を傳へたることありき。彼のアラビヤ數字亦此國に出づ。

族種アラブ





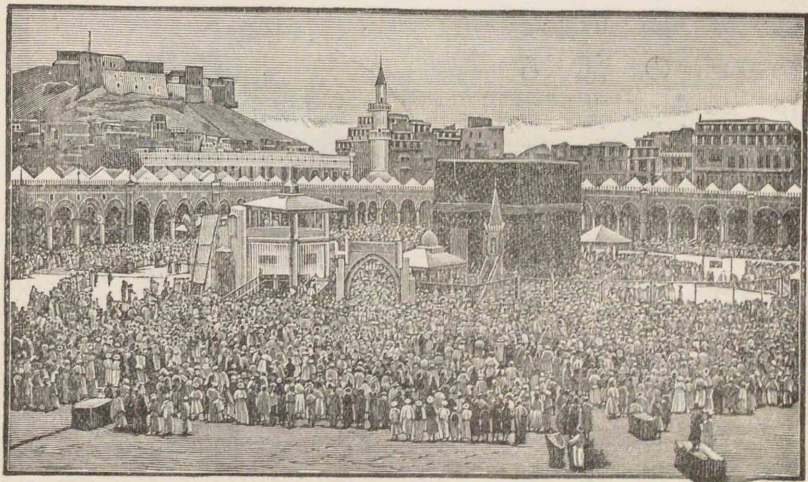
地中海岸のペイ  
ルトより來れる  
鐵道はメヅナを  
經て將にメッカ  
に達せんとす。

ヘルシヤ灣にあ  
るバレーイン諸  
島はイギリスに  
屬し、近海には  
眞珠を産す。  
東部ヘルシヤ灣  
岸の地方は國際  
聯盟の管理に歸  
し、イギリス委  
任統治を行ふこ  
ととならんとす。

りしが、西部紅海の岸より内地  
に亙りて近時ヘヂズ王國興り、  
イギリスの保護を受く。

ヘヂズは回教の起原地にし  
て、其教祖ムハメドの生地なる  
メッカ及び其墳墓の地メヂナは  
巡拜の旅客常に絶えず。

此他、イギリスは南岸にアデ  
ンの要港とバベルマンデブ海  
峽にあるペリム島とを占めて、  
紅海の咽喉を扼す。アデンは  
東西交通の衝に當りて、商船常  
に寄泊す。



集群の客拜參るけ於にカッメ

面積約百十萬方  
里。  
人口約三千二百  
萬。

第五章 北部アジア並に西部アジアの一部

アジアロシヤ

ロシヤはアジアの西部より、次第に北部、中部を侵略し、今  
は此地方に廣大なる領土を有し、其面積アジア大陸の約四  
割に達せり。今之を分ちて、シベリヤ、中央アジア、コーカシ  
ヤの三部とす。

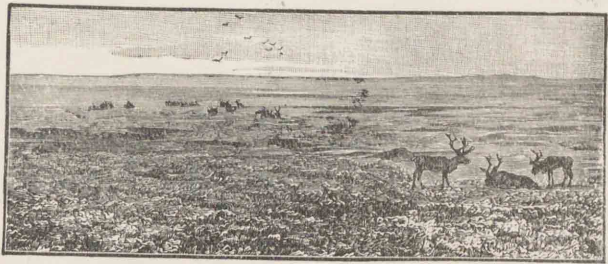
其一 シベリヤ  
SIBERIA

●**境域** 北は北極洋に面し、南に黒龍江、アルタイ山系等に  
よりて、支那に境し、西はウラル山脈より、東は太平洋岸に至  
るアジア北部の大部分を占む。其面積、我國の凡そ十九倍  
あり。



ベーリング海の北にはベーリング海峡あり。新舊大陸は此處にて最も接近し兩者僅に二十三里を隔つるに過ぎず。

凍地帯



①地形。東海岸は出入稍多く、日本海、オホーツク海之に沿うて横はり、樺太島其間にありて之を分つ。東北部にはカムチャッカ半島突出し、其東にベーリング海あり。北極洋の

海岸は比較的單調にして、中央にタイミル半島あり。海岸一帯不凍港を見ず。

内地の地形は、南より北に進むに従ひて、概して次第に低く、其間自ら四帯に分る。

一高地帯。最南部にありて、山嶽又は高臺より成る。支那との境にアルタイ山系、サヤン山系等あり。東部にはヤブロンノイ高臺、スタノヴォイ山脈等連り、日本海岸にはシホタ山脈横はる。別にカムチャッカ半島には火山甚だ多く、其脈

我千島列島に連る。

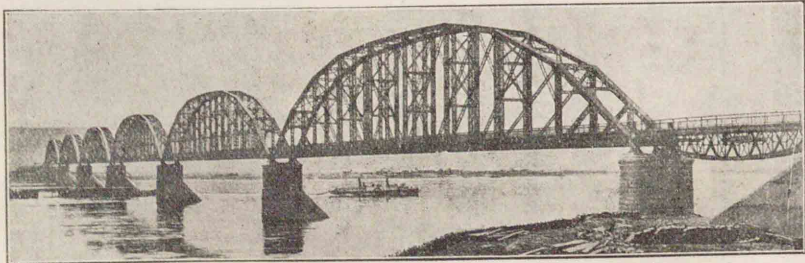
二草原帯。ステップと稱する廣大なる平原にして、高地帯に次ぎ、殊に西南部には最もよく發展せり。

三森林帯。草地帯の北に隣り、主として針葉樹の密林より成る。

四凍地帯。最北部にありて、一年の大部分、地中深き處まで凍結し、唯夏季纔に地表の一部融解して、濕地をなし、矮小なる植物を生ずるのみ。

太平洋斜面には黒龍江あり。北極洋斜面には、レナ、イニセイ、オブの三大河あり。何れも冬季結氷する時の外は、船舶遠く上流

アジャロシヤ



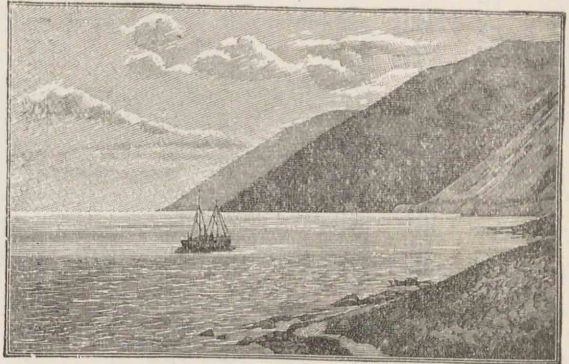
橋道鐵ヤリマシの川イセニエ



バイカル湖は世界最深の湖にして、最深部は水面以下約千五百米に及ぶ。其面積は、シベリヤと等しく、其水溢れてイェニセイ川の支流をなす。

レナ川下流附近は一月の平均温度零下四十九度に及び、シベリヤ第一の暖地と稱せらる。ウラチリオストツクすら我北海道本島の最寒地よりも尙寒冷なり。

湖ルカイバ

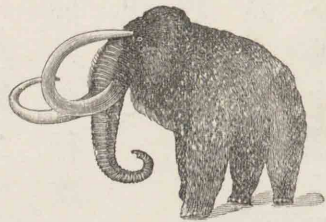


の地に湖航することを得、交通の便あり。西部の平原には湖沼極めて多く、東部の山間にはアジャラ第一の淡水湖たるバイカル湖あり。

③ 氣候。東南は山嶽連りて、温き海風を遮り、北方は開放せられて、寒風内地に吹き入るが故に、温度は著しく低くして、レナ川下流附近は世界の寒極と稱せらる。されど強風少く、天氣晴朗にして、生活には苦痛大ならずと云ふ。

④ 産業。草地帯地方は農業に適し、殊に西部には黒土と稱する豊沃なる土壤ありて、多く麥を産す。牧畜亦行はる。森林帯及び其以北には狐、貂等の毛皮獸あり、又舊象マンモス

シベリヤの毛皮産額は世界に冠たり。



スモンマ象舊

の牙を掘り出すこと少からず。鑛山多くして、殊に金に富み、又銀、石炭、黒鉛をも出す。水産には河川に鮭、鱒多く、東北の近海は獵虎、膾、豚、鯨等の海獸に富み、又鱒、鱒等も少からず。

⑤ 住民。土人はツングース、蒙古、トルコ、オ

スチヤク、サモエド等の種族より成り、何れも文明の程度低し。尙此他に、ロシヤ政府が移民を奨励し、又囚徒を送りたるがために、今は南部なる鐵道沿線に多數のロシヤ人あり。されど人口は一千四十萬に過ぎずして、其密度は尙甚だ小なり。



人クツチスオ

アジャラロシヤ

空



六 政治。シベリヤは、行政上左の三部に分たる。

- 一 西部シベリヤ。……………トボルク省 トムスク省  
Tobolsk Tomsk
- 二 東部シベリヤ。……………イニセイスク省 イルクツク省  
Yeniseisk Irkutsk
- 三 アムール(黒龍江)沿海地方。…外バイカル州 アムール黒龍江州  
Amur Transbaikalia  
沿海州、サハリン州 Sakhalin  
カムチヤカ州 Kamchatka

西部シベリヤのみは、ヨーロッパシヤの各省に於けると同一の行政をなし、其他の地方は特に總督を置きて、之を治めしむ。

七 交通。交通は從來車馬若しくは橇によりて、主要なる道路を往來し、汽船によりて、大河を上下する等に止りしが、シベリヤ鐵道開通してより、其面目一新せり。シベリヤ鐵道

ウラヤウオス  
トック、敦賀間  
には大阪商船會  
社船の航路あり。  
其航海時數  
約四十二時間  
を要す。



道鐵るす通にパッロイヨリよ東極

はヨーロッパシヤより來りて、西部シベリヤに入り、草地帯を東西に貫き、シベリヤの人文最も開けたる處を過ぎ、バイカル湖西のイルクツクに至る。外バイカル鐵道、黒龍鐵道、ウスリ鐵道之に連絡して東岸のウラヂウオストクに通じ、支線は又東支那鐵道に連り、極東ヨーロッパ間の旅程を著しく短縮せしめたり。ウラヂウオストクと我國との間には、定期の汽船往來し、又海底電線を通ず。

八 地方誌。アムール(黒龍江)沿海地方はシベリヤの極東の地なり。ウラヂウオストクはペテロ大帝灣内にあるシベリヤ第一の開港場にして、シベリヤの門戸をなす。冬季凍結するの

アジヤロシヤ

七

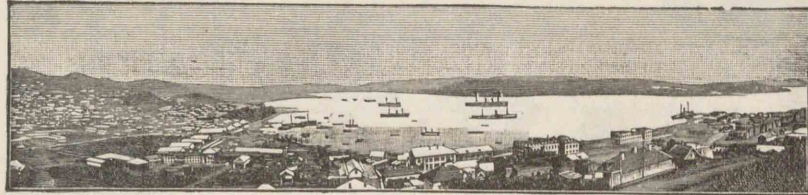


ウラザウオスト  
ツクとはロシア  
語にて「東方の  
主」と云ふ義な  
り。  
ウラザウオス  
トツクに我總領  
事館、ハバロフ  
スク、ニコライ  
エフスクに領事  
館あり。

カムチャッカ半  
島の諸川には  
鮭、鱒、鮭、近  
海には鱈、鯨、海  
豹の漁獲多く、  
殊に西岸は鱈の  
群集するを以て  
著る。

半島のケルチエ  
フ火山は高さ五  
千米に及ぶ。

ウラザウオスト港



憾あれど、碎氷船の備あり。此地よりウスリ鐵道によりて、北に向へば、ニコリスクあり、更に北すれば、ウスリ川と黒龍江との會點に總督府所在地ハバロフスクあり。黒龍江口に臨めるニコライエフスクは漁業の中心をなし、我國人の出漁するもの甚だ多し。樺太島の北半には西岸にアレクサンドロフスクありて、島の主邑をなす。  
カムチャッカ半島は山がちにして、火山多く、島内土地未だ開けず。人口稀少にして、纔に東岸のペトロパフスク港に漁船の來泊するを見るのみ。

半島の東方海中にコマンドル諸島あり。其

ペトロパフロフスクに我領事館あり。

ブラゴヴェシチ  
エンスクは滿洲  
の愛琿、黒河に  
近くして、相互  
の間に貿易行は  
る。此地に我領  
事館あり。

イルクツクに我領事館あり。

附近は膾炙獸獵虎等の棲息地なり。

ハバロフスクより黒龍鐵道によ

り西に進めばブラゴヴェシチンスク

あり。附近に産金地多し。黒龍鐵道

はクエンガに至り、外バイカル鐵道

に連る。外バイカル鐵道に沿ひてチ

タの名邑あり。キフタは蒙古の買賣

城に近く、貿易盛なり。

東部シベリヤにはバイカル湖よ

り流るゝアンガラ川に沿ひて、イル

クツクあり。總督府の所在地にして、政治商業の中心をなす。

ヤクーツクはレナ川に臨み、毛皮象牙の集散地なり。

シベリヤ鐵道に沿ひて西すれば、土地次第に開け、西部シ



ペトロパフスク港とカムチャッカ人

アジャラシヤ

先



トムスクの南方  
オア川上流のバ  
ルナウルは、ア  
ルタイ地方鑛業  
の中心として古  
來其名高し。

ウスリ鐵道の大部分及び黒龍鐵道の全部延長約三千二百軒は目下我國の管理に屬す。

ベリヤは農業發達し、シベリヤの穀物倉と稱せらる。幹線より稍北に離れて、支線の終點にトムスクあり。シベリヤ有數の都會にして、大學、博物館等よく備れり。シベリヤ鐵道は中央アジヤのオムスクを経て、ヨーロッパロシアに入る

●九 シベリヤと日本。シベリヤは我内地と位置相逼り、且朝鮮樺太に於て我と境を接し、又外バイカル鐵道及びウスリ鐵道は、東支那鐵道を経て、我南滿洲鐵道に連絡し、ロシアと我國との勢力圏は到る處に接觸せるが故に外交、交通、通商等の關係甚だ繁し。大正七年口



街市のクツクリイ

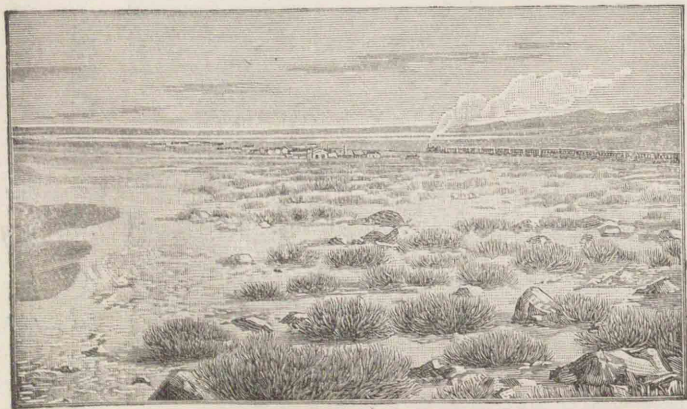
面積約二十三萬方里。

カスピ海の水面は地中海の水準以下二十六米に及ぶ。

シヤ内亂の波及に際し、我軍はシベリヤに出動し、沿海州、アムール州、外バイカル州に轉戦し、現に其地方鐵道沿線の秩序維持の任に當れり。

其二 中央アジヤ

●一 地文。中央アジヤはイラン高臺の北に隣る。其中央にツラン低地あり。其大部分は沙漠にして、北に延びて草地あり。東南部にはバミール高地あり。西には世界第一の大湖なるカスピ海あり。ツラン低地の中央には、アラル海ありて、アム、シルの二川を容れ、キルギス草地にはバルハシ湖ありて、イリ川之に注ぐ。



道鐵ピスカ外と方地地草



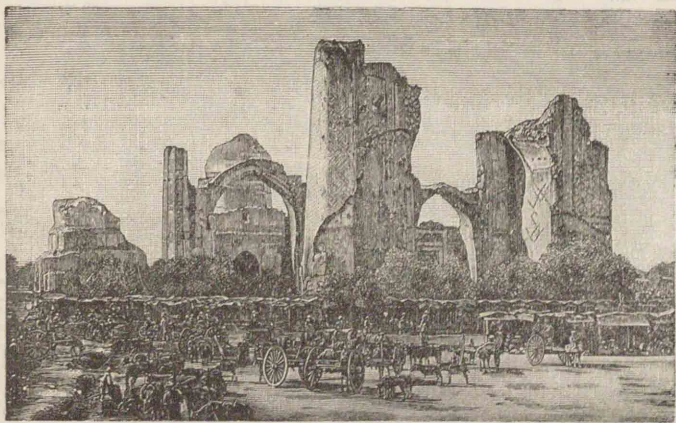


人口約千百萬。

●人文。 河流の沿岸のみは土地豊沃にして、穀物、果實、綿等の産あり。此地方にはトルコ種族ありて、土著して、よく農蠶の業を勵む。又沙漠には慄悍なるトルコマン種族出沒し、草地にはキルギス人遊牧を業として、駱駝、馬、牛羊等を養ふ。

●地方誌。 行政上、此地域を分ちて、ステップ(草地)、トルキスタン、外カスピの三地方及びヒヅ、ボハラTrans-Caspian Province Khiva Bokharaの二屬國とす。トルキスタンのタシケントには總督府あり。サマルカンドと共に隊商の集る處にして、商業盛なり。

サマルカンドはチムール帝の都せし處にして、今尙其廟墓存す。



址遺の築建古と街市のドンカルマサ

街市のクスムオ



ステップの北部、シベリヤ鐵道に沿ひオムスクあり。ステップ地方の總督府所在地にして、農牧の中心をなし、盛なる年市あり。ボハラ、ヒヅは共に酋長國にして、同名の都あり。外カスピ鐵道はカスピ海岸より起り、沙漠中の沃地にあるメルフを過ぎ、サマルカンドを経て、支那の境に近づき、更に分れてタシケントに至る。タシケントよりはヨーロッパのオレンブルグに至る鐵道あり。又別にメルフよりアフガニスタンのクシクに至る支線あり、相俟つて軍事通商の重要な交通線路をなす。



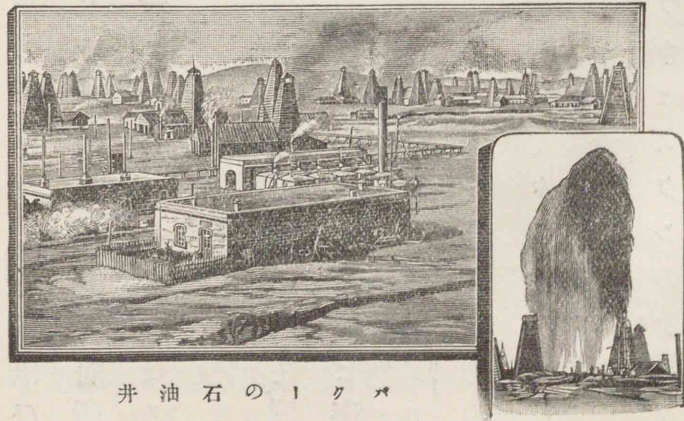
其三 **コーカシヤ**(カフカズ)  
CAUCASIA

面積 約三萬方  
里。  
人口 約千二百  
萬。

コーカサス山脈  
の中央を横断し  
てウラゲカフカ  
ズ越あり。南北  
を連絡する好交  
通路なり。

コーカシヤは黒海とカスピ海と  
の間に挟まる。コーカサス(カフカズ)  
山脈其中央を走り、山勢極めて高峻  
にして、其最高峯をエルブルーズと  
云ふ。山脈の北方を内コーカシヤ、南  
方を外コーカシヤと云ふ。

外コーカシヤは温暖にして、雨量  
多く、土地肥え、葡萄を産し、又近來茶  
の栽培を勉む。住民は主としてコ  
ーカサス種族にして、容貌の美なる  
もの多し。



井油石のクバ

コーカサス山間  
の土民は不屈の  
精神に富み、ロ  
シヤの征服に對  
して頑強に抵抗  
せしを以て知ら  
る。

首府チ・フリスは外コーカシヤにありて、アジャロシヤ第  
一の都會なり。カスピ海岸のバクトーは石油の産に名高く、  
其産額は北アメリカに次ぎて、世界第二に位す。黒海の岸  
にはバクトーム港ありて、石油を輸出す。

(上巻をばり)



レ

歴城〔済南〕……………Licheng ……………43<sub>E</sub>  
 レナ(川)……………Lena ……………93, 94

ロ

廬山……………Lushan ……………48

(Faint text, likely bleed-through from the reverse side)



ム  
無錫.....Wusi .....47  
ムズタフアタ.....Mustagh Ata .....29上

メ  
メコン(川).....Mekong .....62  
メソポタミヤ.....Mesopotamia .....86-87  
メソポタミヤ平原.....18, 86  
メヂナ.....Medina .....90  
メッカ.....Mekka .....90  
メナド.....Menado .....72  
メナム(川).....Menam .....63  
メルフ.....Merv .....103

モ  
蒙古.....Mongolia .....52-54  
蒙古人種[アジャ人種].....Mongolians .....24, 95  
蒙古族.....Mongols .....34  
蒙自.....Mentze .....50上  
モルッカ諸島.....Molucca, Spice Is. ....72

ヤ  
ヤクトツク.....Yakutsk .....99  
ヤクトツク州.....96  
ヤナオン.....Yanaon .....81上  
ヤブロノイ(高臺).....Yablonoï .....92  
ヤルカンド.....葉爾羌.....Yarkand .....54

ユ  
ユーラシヤ(大陸).....Eurasia .....14

ユーラフリカ人種[コシカシヤ人種].....Eurafricans .....25  
ユエ.....順化.....Hue .....62

ヨ ヤウ(ヨウ)

陽曲[太原].....Yangchu .....44上  
揚子江.....Yangtzekiang .....18, 31  
ヨルダン(低地).....Jordan .....87

ラ

雷州(半島).....Leichau .....51  
ラオス.....老撾.....Laos .....61, 62  
ラッサ.....拉薩.....Lassa, Lhasa .....56  
ラホール.....Lahor .....79  
ランゲン.....Rangoon .....66  
蘭州.....Lanchau .....45

リ レウ(リョウ)

龍江[齊々哈爾].....Lungkiang .....12上  
劉公島.....Liukungtau .....56  
龍州.....Lungchau .....52  
龍井村.....Lungchingtsun .....12  
遼原[鄭家屯].....Liaoyuen .....8上  
遼河.....Liaoho .....6  
遼東(半島).....Liaotung .....1, 5, 30  
遼東灣.....Liaotung Gulf .....5  
遼陽.....Liaoyang .....9  
旅順.....Port Arthur .....4-5

ル

ルソン(島).....呂宋.....Luzon .....72



ブリットン(島).....Billiton .....71  
ブル(島).....Buru .....68  
汾水.....Fenho .....44

ベリリング海.....Behring Sea .....92  
ベリリング海峡.....Behring Strait..... 14, 92上  
萍郷.....Pinghiang .....48, 49上  
北京.....Peking .....40  
ペシャワール.....Peshawar .....79  
ペトロパフロフスク.....Petropavlovsk ..... 98  
ヘヂャズ.....Hedjaz..... 23, 89, 90  
ベナレス.....Benares .....78  
ベイルト.....Beirut.....90上  
ペリム(島).....Perim.....90  
ペルシヤ.....波斯.....Persia.....83-84  
ペルシヤ灣.....Persian Gulf.....86  
ベルチスタン.....Beluchistan.....82, 83  
ベンガル灣.....Bay of Bengal.....15, 73

ホ ハフ(ホウ)

坊子.....Fangtzu .....43  
ボイテンゾルグ.....Buitenzorg .....71  
鳳凰山.....Fenghuangcheng..... 47上  
奉天(瀋陽).....Mukden.....9  
奉天(省).....Fengtien.....9-11  
北部アジャ竝に西部アジャの一部.....91-105  
北嶺(秦嶺山脈).....Peling Mts.....30  
浦口.....Pukou .....42, 47  
ホタン.....和闐.....Khotan .....54

渤海灣.....Pohaiwan ..... 1, 30  
北極洋.....Arctic Ocean .....14, 91  
ボハラ.....Bokhara .....103  
ボルネオ(島).....Borneo .....71  
本溪湖.....Penhsihu..... 11  
ホンコン.....香港.....Hong Kong.....51, 57-58  
ボンヂシェリ.....Pondicherry .....81上  
ボンベイ.....孟買.....Bombay.....80

マ

マエ.....Mahé .....81上  
マカオ.....澳門.....Macao .....58  
マドラス.....Madras.....80  
マナール灣.....Gulf of Manaar .....80  
マニラ.....馬尼拉.....Manila.....72  
マライ諸島.....馬來諸島.....Malay Archipelago ..15, 68-73  
マライ半島.....Malay Pen. ....66  
マライ聯邦.....Federated Malay States.....66  
マラッカ.....Malacca.....66  
マルモラ海.....Sea of Marmora .....84  
滿洲.....Manchuria.....1-13  
マンダレ.....Mandalay .....66  
滿洲里.....Manchouli .....13

ミ

南支那海.....Nanhai, China Sea ....15, 30  
南滿洲.....South Manchuria.....6  
南滿洲鐵道.....South Manchuria Railway ...  
.....3, 8, 9  
ミンダナオ.....Mindanao .....72



バク | ..... Baku ..... 105  
 白河 ..... Peiho ..... 41  
 博山 ..... Poshan ..... 43  
 バグダ | ド ..... Bagdad ..... 86  
 バグダ | ド 鐵道 ..... Bagdad Railway ..... 86  
 バクナム ..... Paknam ..... 65, 65<sub>上</sub>  
 バシ海峽 ..... Bashi Channel ..... 72  
 バタヴィヤ ..... Batavia ..... 71  
 バツ | ム ..... Batum ..... 105  
 バトナ ..... Patna ..... 78  
 ハノイ ..... Hanoi ..... 62  
 ハバロフスク ..... Khabarovsk ..... 98  
 バビロニヤ ..... Babylonia ..... 86<sub>上</sub>  
 バベルマンデブ海峽 ..... Strait of Bab-el-Mandeb ..... 90  
 馬蜂溝 ..... Mafengkou ..... 9<sub>上</sub>  
 バミール(高地) ..... Pamir ..... 16, 101  
 鄱陽湖 ..... Poyanghu ..... 31, 47  
 バルハシ(湖) ..... Balkhash ..... 101  
 哈爾賓 ..... Kharbin ..... 8<sub>上</sub>, 11  
 バルマ ..... 緬甸 ..... Burma ..... 65-66  
 バレスチナ ..... Palestine ..... 88, 88<sub>上</sub>  
 バンカ(島) ..... Banka ..... 71  
 漢口(夏口) ..... Hankau ..... 48-49  
 番禺(廣東) ..... Panyu ..... 51<sub>上</sub>  
 バンコク ..... 盤谷 ..... Bangkok ..... 64  
 バンジャブ ..... Punjab ..... 79  
 萬壽山 ..... Wanshoushan ..... 41<sub>上</sub>  
 萬里長城 ..... The Great Wall ..... 42

ヒ      ベウ(ビョウ)

東ガッツ山脈 ..... Eastern Ghats ..... 75

東鷄冠山 ..... Tungchikuanshan ..... 5  
 東支那海 ..... Tunghai, Eastern Sea .....  
 ..... 15, 30, 31  
 東支那鐵道(東清鐵道) ..... Chinese Eastern Railway .....  
 ..... 8, 11, 12, 97  
 ビナン ..... 彼南 ..... Pinang ..... 67  
 ヒヴ ..... Khiva ..... 103  
 ヒマラヤ山系 ..... 喜馬拉耶山系 ..... Himalaya Mts. .... 16, 29, 73  
 閩江 ..... Minho ..... 50  
 閩侯(福州) ..... Minhou ..... 51  
 ヒンヅ | ツシ山脈 ..... Hindukush Mts. .... 17, 73, 82  
 ヒンヅ | 種族 ..... Hindus ..... 76  
 ヒンドスタン(平野) ..... Hindustan ..... 74  
 苗(族) ..... Miao ..... 34

フ

ブ | タン ..... Bhutan ..... 81  
 フィリピン諸島 ..... 比律賓諸島 ..... Philippine Is. .... 72-73  
 福建(省) ..... Fukien ..... 50  
 福州 ..... Fuchau ..... 50  
 蕪湖 ..... Wuhu ..... 47  
 武昌 ..... Wuchang ..... 49  
 撫順 ..... Fushun ..... 9, 13  
 ブ | シール ..... Bushire ..... 84  
 ブダガヤ ..... 佛陀伽耶 ..... Buddha-gayâ ..... 78  
 ブノムベン ..... Pnom-Penh ..... 63  
 ブラゴヴェシチェンスク ..... Blagoveshchensk ..... 99  
 ブラマプトラ(川) ..... Brahmaputra ..... 18, 74  
 フランス領インドシナ ..... 佛領印度支那 .....  
 ..... French Indo-China ..... 61-63



迪化〔烏魯木齊〕.....Tihua .....55  
 鐵嶺.....Tiehling .....9  
 テヘラン.....Teheran .....84  
 デリ.....Delhi .....78  
 天山(山系).....Thianshan, Celestial Mts. ....  
 .....17, 29, 54  
 天山南路.....Thianshannanlu .....54  
 天山北路.....Thianshanpelu .....54  
 天津.....Tientsin .....41

ト

騰越.....Tengyueh .....50<sub>上</sub>  
 潼關.....Tungkwan .....45<sub>上</sub>  
 東三省.....5  
 東清鐵道(東支那鐵道).....Chinese Eastern Railway ....  
 .....8, 11, 12, 97  
 桃沖.....Taochung .....47<sub>上</sub>  
 洞庭湖.....Tungtinghu .....31, 49  
 洮南.....Taonan .....10  
 東部アジヤ.....Eastern Asia .....29-59  
 東部シベリヤ.....Eastern Siberia .....96  
 豆滿江.....Tumen .....7  
 トボルスク(省).....Tobolsk .....93, 96  
 トムスク.....Tomsk .....100  
 トムスク(省).....93  
 ドラヴィダ種族.....Dravidas .....76  
 トランスヒマラヤ山系.....Transhimalaya Mts. ....16  
 トルキスタン.....土耳其斯坦.....Turkestan .....102  
 トルコ族.....Turks .....34  
 トルコマン種族.....Turkomans .....102

多倫諾爾.....Dolonnor .....53  
 トンキン.....東京.....Tongking .....61, 62  
 トンキン灣.....Gulf of Tongking.....62  
 嫩江.....Nonni.....6

ナ

南京〔江寧〕.....Nanking .....47  
 南山.....Nanshan .....4  
 南昌.....Nanchang .....47  
 南潯鐵道.....47  
 南部アジヤ.....Southern Asia .....60-82  
 南嶺.....Nanling .....30

ニ

ニコライエフスク.....Nikolaievsk .....98  
 ニコリスク.....Nikolisk .....98  
 西ガッツ山脈.....Western Ghats.....75  
 日本海.....Sea of Japan .....15

ネ

寧夏.....Ningshia .....53<sub>上</sub>  
 熱河.....Jehol .....53  
 ネパール.....Nepal .....81

ハ

巴〔重慶〕.....Pa .....50<sub>上</sub>  
 バレイン諸島.....Bahrein Is. ....90<sub>上</sub>  
 バイカル(湖).....Baikal .....94  
 買賣城.....Maimatchin.....54  
 ハイフォン.....海防.....Haiphong .....62



タ

ダージリング.....Darjiling .. 79<sub>上</sub>  
 タリム(川).....Tarim .....32  
 タリム盆地.....Tarim Basin.....17, 54  
 大運河.....Grand Canal .....42  
 太原.....Taiyuan .....44  
 泰山.....Taishan .....44  
 大雪嶺(山脈).....Tahsuehling .....30  
 大東溝.....Tatungkou .....10  
 太平洋.....Pacific Ocean.....14  
 タイミル(半島).....Taimyr .....92  
 大冶(鐵山).....Tayeh .....48, 48<sub>上</sub>  
 大理.....Tali.....50  
 大連(市).....Dairen .....3-4  
 大連灣.....1, 3  
 臺灣海峡.....Formosa Strait .....30  
 タウルス山脈.....Taurus Mts. ....85  
 ダヴャオ.....Davao.....73  
 タシケント.....Tashkent .....102  
 打箭爐.....Tatsienlu .....50  
 タブリズ.....Tabriz .....84  
 ダマスクス.....Damascus .....88  
 ダマン.....Damão .....81<sub>上</sub>  
 丹徒〔鎮江〕.....Tantu .....47<sub>上</sub>

チ テウ(チョウ)

芝罘.....Chifu .....43  
 チウ.....Diu .....81<sub>上</sub>  
 チグリズ(川).....Tigris.....86

地中海.....Mediterranean Sea .....16  
 齊々哈爾.....Tchitchikhar .....12  
 チタ.....Chita .....99  
 チフリス.....Tiflis.....105  
 チベット.....西藏.....Tibet .....55-56  
 チベット高原.....16  
 チベット族.....Tibetans .....34  
 チモル(島).....Timor .....70  
 察哈爾.....Chahar .....53<sub>上</sub>  
 中央アジャ.....Russian Central Asia .....101-103  
 張家口.....Khalgan .....42  
 重慶.....Chungking .....50  
 長沙.....Changsha .....49  
 長山(列島).....Changshan .....1  
 長春.....Changchun .....11  
 朝鮮半島.....15  
 直隸海峡.....Strait of Pechili.....1  
 直隸(省).....Chili .....40-43  
 長白(山脈).....Changpe .....6  
 張北〔張家口〕.....Changpe .....42<sub>上</sub>  
 鎮江.....Chinkiang .....47  
 青島.....Tsingtau .....43

ツ

ツラン(低地).....Turan .....101  
 ツングース族.....Tunguses .....6, 34

テ

鄭家屯.....Che. gkiatun .....10, 10<sub>上</sub>  
 デカン(高臺).....Deccan .....17, 75



承德〔熱河〕..... Chengte ..... 52  
 ショロン..... Cholon ..... 63<sub>F</sub>  
 シリヤ..... Syria ..... 87-88  
 シル川..... Syr Darja ..... 19, 101  
 ジロロ(島)..... Gilolo ..... 72  
 シンガポール..... 新嘉坡..... Singapore ..... 67  
 新疆(省)〔伊犁〕..... Sinkiang ..... 54-55  
 秦皇島..... Chinwangtau ..... 41-42  
 津浦鐵道..... 43, 47  
 新民府..... Sinminfu ..... 10  
 秦嶺山脈〔北嶺〕..... Tsinling Mts. .... 30  
 瀋陽〔奉天〕..... Shenyang ..... 9<sub>上</sub>

ス

綏遠..... Suiyuan ..... 53<sub>上</sub>  
 スエズ地峽..... 蘇士地峽..... Isthmus of Suez ..... 14  
 スクタリ..... Scutari ..... 85  
 スタノヴォイ山脈..... Stanovoi Mts. .... 92  
 ステップ地方..... Steppes ..... 103  
 蘇州..... Suchau ..... 46  
 スマトラ(島)..... Sumatra ..... 71-72  
 スミルナ..... Smyrna ..... 85  
 スラバヤ..... Sourabaya ..... 71<sub>上</sub>  
 スリナガル..... Srinagar ..... 80  
 スリマン山脈..... Suliman Mts. .... 73, 82  
 汕頭..... Swatao ..... 51  
 スンダ海峽..... Sunda ..... 68<sub>上</sub>

セ

西安..... Singan ..... 45

青海..... Koko-nor ..... 55  
 青海(湖)..... Koko-nor ..... 32, 55  
 西湖..... Sibü ..... 46<sub>上</sub>  
 西江..... Sikiang, West River ..... 32  
 成都..... Chentu ..... 50  
 青島..... Tsingtau ..... 43  
 西套蒙古..... Sitao-Mongolia ..... 53<sub>上</sub>  
 濟南〔歴城〕..... Tsinan ..... 43  
 西寧..... Sining ..... 55  
 西部アジア..... Western Asia ..... 82-90  
 西部シベリヤ..... Western Siberia ..... 96, 99-100  
 セイロン(島)..... 錫蘭..... Ceylon ..... 80-81  
 赤峯..... Chihfeng ..... 53  
 浙江(省)..... Chekiang ..... 45-46  
 セラン(島)..... Ceram ..... 68  
 セレベス(島)..... Celebes ..... 72  
 陝西(省)..... Shensi ..... 45  
 千山..... Chienshan ..... 9<sub>上</sub>  
 錢塘江..... Tsientangkiang ..... 46

ソ サウ(ソウ)

草地地方..... Steppes ..... 102  
 蘇州..... Suchau ..... 46  
 外カスピ地方..... Transcaspia ..... 102  
 外カスピ鐵道..... Transcaspian Railway ..... 103  
 外コカシヤ..... Transcaucasia ..... 104  
 外蒙古..... Outer Mongolia ..... 53  
 疏勒〔カシガル〕..... Sulu ..... 54  
 ソンコイ(川)..... Songkoi ..... 62



黒海 ..... Black Sea ..... 16  
 黒龍江 ..... Amur ..... 18, 93  
 黒龍江(省) ..... Helungkiang ..... 12  
 青海 ..... Koko-nor ..... 55  
 青海(湖) ..... Koko-nor ..... 32, 55  
 湖南(省) ..... Hunan ..... 49  
 滬寧鐵道 ..... 47  
 コニヤ ..... Konia ..... 85  
 ゴビ沙漠 ..... 戈壁沙漠 ..... Desert of Gobi ..... 17, 52  
 湖北(省) ..... Hupeh ..... 48  
 コマンドル諸島 ..... Komandor Is. .... 98  
 コロンボ ..... 古倫母 ..... Colombo ..... 81  
 昆明(雲南) ..... Kunming ..... 50<sub>上</sub>  
 昆明湖 ..... Kunminghu ..... 41  
 崑崙山系 ..... Kuenlun Mts. .... 16, 30

サ

サイヤン山系 ..... Sajanskii Mts. .... 92  
 サイゴン ..... 柴棍, 西貢 ..... Saigon ..... 63  
 濟南(歴城) ..... Tsinan ..... 43  
 サハリン(州) ..... Sakhalin ..... 96  
 サマラン ..... Samarang ..... 71  
 サマルカンド ..... Samarkand ..... 102  
 サモエド種族 ..... Samoyeds ..... 95  
 サルウィン(川) ..... Salwin ..... 65  
 山海關 ..... Shankaikwan ..... 41  
 山西(省) ..... Shansi ..... 44  
 サンダカン ..... Sandakan ..... 71  
 山東(省) ..... Shantung ..... 43  
 山東半島 ..... I, 30, 43-44

山東鐵道 ..... 43  
 ザンボアング ..... Zamboanga ..... 73

シ セウ(シヨウ)

シットエルアラブ(川) ..... Shat-el-Arab ..... 18, 86  
 ジャバ(島) ..... 瓜哇 ..... Java ..... 70-71  
 シム ..... 暹羅 ..... Siam ..... 63-65  
 シム灣 ..... Gulf of Siam ..... 63  
 シャンデルナゴル ..... Chandernagor ..... 81<sub>上</sub>  
 上海 ..... Shanghai ..... 46  
 死海 ..... Dead Sea ..... 87  
 四川(省) ..... Szechuan ..... 50  
 支那 ..... China ..... 29-60  
 シナイ(半島) ..... Sinai ..... 89  
 支那本部 ..... China Proper ..... 40-52  
 シベリヤ ..... 西比利亞 ..... Siberia ..... 91-101  
 シベリヤ人 ..... 95  
 シベリヤ鐵道 ..... Siberian Railway ..... 26, 96  
 思茅 ..... Sumao ..... 50<sub>上</sub>  
 シホタ山脈 ..... Sikhota Alin Mts. .... 92  
 思明(厦門) ..... Suming ..... 51<sub>上</sub>  
 シムラ ..... Simla ..... 79<sub>上</sub>  
 沙市 ..... Shashi ..... 49  
 珠江 ..... Chukiang ..... 32  
 湘江 ..... Siangkhiang ..... 49  
 小アジャ ..... 小亞細亞 ..... Asia Minor ..... 85-86  
 小アジャ(半島) ..... 16  
 松花江 ..... Sungari ..... 11  
 小庫倫 ..... Hsiaokulun ..... 10  
 紹興 ..... Shaoking ..... 46<sub>上</sub>



九龍半島..... 58  
 貴州(省)..... Kuichau ..... 50  
 宜昌..... Ichang ..... 49  
 季節風帯地方..... Monsoon Zone..... 19<sub>上</sub>  
 北滿洲..... North Manchuria ..... 6  
 吉林..... Kirin ..... 11  
 吉林省..... 11  
 曲阜..... Chufu ..... 44  
 キルギス草地..... Kirghiz Steppes ..... 101  
 キルギス人..... Kirghiz ..... 102  
 金州..... Chinchau ..... 4  
 金州灣..... 1, 4  
 金州地峽..... 1  
 金嶺鎮..... Chinlinchen ..... 43

ク

庫倫[ウルガ]..... Kulun ..... 53  
 クエンガ..... Kuenga ..... 99  
 クシク..... Kushk ..... 103  
 クラカタウ(島)..... Krakatau ..... 68<sub>上</sub>  
 クルヂャ..... 固爾札..... Kuldja ..... 55  
 クルチェフ(火山)..... Kljuhevskaja Sopka ..... 98<sub>上</sub>

ケ

..... Chingchao ..... 40-41  
 京漢鐵道..... 43, 48  
 京張鐵道..... 42  
 景德鎮..... Kingtechen ..... 48  
 京奉鐵道..... 10, 41

桂林..... Kweiling ..... 52  
 ケタ..... Quetta ..... 83  
 ケラット..... Kerat ..... 83  
 ケルト(火山)..... Keloet ..... 68<sub>上</sub>  
 沅江..... Yuankiang ..... 49

コ クウ カウ(コウ)

呉[蘇州]..... Wu ..... 46<sub>上</sub>  
 ゴア..... Goa ..... 81<sub>上</sub>  
 興安嶺..... Khingan Mts. .... 17  
 黄河..... Hwangho, Yellow River ..... 18, 30  
 紅海..... Red Sea ..... 16  
 黃海..... Hwanghai, Yellow Sea ..... 1, 15, 30  
 コーカシヤ人種[ユーラフ리카人種]... Caucasians ..... 25  
 コーカシヤ..... 高加索..... : Caucasia, Kavkas ..... 104  
 コーカサス山脈..... Caucasus Mts. .... 104  
 コーカサス種族..... 104  
 交趾支那..... Cochinchina ..... 61, 62-63  
 廣州[廣東]..... Kwangchau ..... 51<sub>上</sub>  
 杭州[杭]..... Hangchow ..... 46  
 杭州灣..... Bay of Hangchow ..... 30  
 廣州灣..... Kwangchauwan ..... 57  
 膠州灣..... Kiaochau Bay ..... 43  
 廣西(省)..... Kwansi ..... 51-52  
 江西(省)..... Kiangsi ..... 47  
 江蘇(省)..... Kiangsu ..... 45-46  
 江寧[南京]..... Kiangning ..... 47  
 黃浦江..... Hwangpukiang ..... 46  
 阜蘭[蘭州]..... Haolan ..... 45<sub>上</sub>  
 黒河..... Heiho(Sachalin-ula) ..... 13<sub>上</sub>



エルブルズ(山).....Elbruz.....104  
 沿海州.....Primorskaya.....96  
 煙臺〔芝罘〕.....Yentai.....43

オ アフ(オウ)

オスチャック種族.....Ostyaks.....95  
 オブ(川).....Ob.....18, 93  
 オホーツク海.....Sea of Okhotsk.....15, 92  
 オマン.....Oman.....89  
 オムスク.....Omsk.....103  
 鴨綠江.....Yalu.....7, 10

カ ク

海岸島嶼種族.....Insulars and Littorals.....25  
 海峡植民地.....Straits Settlements.....66-67  
 海南島.....Hainantau.....52  
 懷寧〔安慶〕.....Huaining.....47<sub>上</sub>  
 開平.....Kaiping.....41  
 蓋平.....Kaiping.....9  
 カイベル越.....Khyber Pass.....83<sub>上</sub>  
 開封.....Kaifeng.....45  
 海洋島.....Haiyangtau.....1  
 九龍.....Kowloon.....57  
 九龍半島.....58  
 夏口〔漢口〕.....Hsiakau.....48<sub>上</sub>  
 岳州〔岳陽〕.....Yochau.....49  
 岳陽〔岳州〕.....Yoyang.....49<sub>上</sub>  
 カシガル〔疏勒〕.....喀什噶爾.....Kashgar.....54  
 カシミル.....Kashmir.....80  
 カスピ海.....裏海.....Caspian Sea.....101, 101<sub>上</sub>

河南(省).....Honan.....45  
 河南.....45  
 カブル.....Kabul.....83  
 カムチャッカ(半島).....Kamtchatka.....15, 98, 98<sub>上</sub>  
 嘉峪關.....Chiayukwan.....42  
 カラクル(湖).....Kara Kul.....16<sub>上</sub>  
 カラチ.....Karachi.....80  
 樺太島.....92, 98  
 カリカル.....Karikal.....81<sub>上</sub>  
 嘉陵江.....Chialingkiang.....50  
 カルカッタ.....Calcutta.....79  
 ガンガ(川).....Ganges.....18, 74  
 漢江〔漢水〕.....Hankiang.....48  
 贛江.....Kankiang.....47  
 漢口〔夏口〕.....Hankau.....48-49  
 函谷關.....Hankukwan.....45<sub>上</sub>  
 甘肅(省).....Kansu.....45  
 漢族.....6, 34  
 間島.....12<sub>上</sub>, 13<sub>上</sub>  
 廣東〔廣州〕.....Canton.....51  
 廣東(省).....Kwangtung.....51-52  
 廣東灣.....30  
 關東州.....1-5  
 カンボヂャ.....柬埔寨.....Cambodja.....61, 62-63  
 漢陽.....Hanyang.....49

キ

キョフタ.....Kjakhta.....54, 99  
 九江.....Kiukiang.....47<sub>上</sub>, 47  
 九龍.....Kowloon.....57



アルメニヤ高臺.....85, 86  
アレクサンドロフスク..... Alexandrovsk .....98  
アンガラ(川)..... Angara .....99  
安徽(省)..... Nganhui .....45, 47  
安慶〔懷寧〕..... Nganking .....47  
アンゴラ..... Angora .....85  
鞍山..... Anshan .....10, 10<sub>上</sub>  
アンダマン諸島..... Andaman Is. ....68  
安東..... Antung .....10  
アンナン..... 安南..... Annam .....61, 62  
アンナン山脈.....62  
安奉線.....8, 9, 11

イ キ

イェニセイ(川)..... Yenisei .....18, 93, 94  
イェニセイスク(省)..... Yeniseisk .....96  
イェルサレム..... Jerusalem .....88  
威海衛..... Weihaiwei .....43, 56  
渭水..... Weiho .....30  
イギリス領インドシナ・英領印度支那..... British Indo-China.....65-67  
イラワヂ(川)..... Irawadi .....66  
イラン(高臺)..... Irân .....18  
イラン山脈.....82  
イラン種族.....82  
イラン地方.....82-84  
伊犁〔新疆省〕..... Ili .....54-55  
イリ(川)..... Ili .....32  
イルクツク..... Irkutsk .....97, 99  
イルクツク省.....96  
頤和園..... Ihooyuan .....41

インド..... 印度..... India .....73-82  
インドシナ(山系)..... Indo-China .....17, 60  
インドシナ半島.....15, 60-67  
インヅス(川)..... Indus .....18, 74  
インド半島.....15  
インド洋..... Indian Ocean .....14, 73

ウ

吳淞..... Wusung .....46  
ヴィクトリヤ(ホソコシ)..... Victoria.....58  
ウスリ(川)..... 烏蘇里..... Ussuri .....98  
ウスリ鐵道.....98  
内コトカシヤ..... Ciscaucasia .....104  
内蒙古..... Inner Mongolia.....52-53  
蕪湖..... Wuhu .....47  
ウラヂウ★ストック..... 浦潮斯德..... Vladivostok .....97<sub>上</sub>, 97, 98<sub>上</sub>  
ウラヂカフカズ越..... Vladikavkas Pass.....104<sub>上</sub>  
ウラル(川)..... Ural .....14, 19  
ウラル山脈..... Ural Mts.....14  
ウルガ〔庫倫〕..... Urga .....53  
烏魯木齊〔迪化〕..... Urumtsi .....55  
雲南..... Yunnan .....50  
雲南省.....50

エ エ

營口..... Inkau .....10  
エウフラテス(川)..... Euphrates .....86  
エヴェレスト(山)..... Everest .....16<sub>上</sub>, 16, 74  
粵漢鐵道.....48  
エルブールズ山脈..... Elburz Mts. ....82



普通教育  
世界地理教科書  
上卷索引

(數字は頁数を、上は上欄を示す)

ア

アジャ……………亞細亞……………Asia……………14-105  
 アジャ人種〔蒙古人種〕……………Asiatic Race……………24, 34  
 アジャトルコ……………亞細亞土耳其……………Turkey in Asia……………84-88  
 アジャロシヤ……………亞細亞露西亞……………Russia in Asia……………91-105  
 アジャンタ洞窟……………Ajanta Cave……………80, 80<sub>上</sub>  
 アダム橋……………Adam's Bridge……………74  
 アッシリヤ……………Assyria……………86<sub>上</sub>  
 アデン……………亞丁……………Aden……………90  
 亞東……………Yatung……………56  
 アフガニスタン……………阿富汗斯坦……………Afghanistan……………83  
 アムール(州)……………Amur……………96  
 アムール沿海地方……………Amur-Primorsk……………97-98  
 アム川……………Amu Darja……………101  
 廈門……………Amoy……………50  
 廈門島……………50  
 アラビヤ……………亞刺比亞……………Arabia……………88-90  
 アラビヤ海……………Arabian Sea……………15, 74  
 アラビヤ半島……………15  
 アラブ種族……………Arabs……………89  
 アラル海……………Aral Sea……………101  
 アルタイ山系……………亞爾泰山系……………Great Altai Mts.……………17, 92  
 アルメニヤ……………Armenia……………85

明治三六年五月一日印  
 大正六年二月五日訂正五版印刷  
 大正八年七月七日修正六版印刷  
 大正九年一月十五日訂正十七版發行  
 大正九年一月二十日訂正十七版印刷  
 大正九年一月二十七日訂正十七版發行

普通世界地理教科書  
 定價金四拾參錢



著者 山崎直方  
 印發行 東京開成館  
 發行所 東京小石川區小日向水道町八十四番地 株式會社 東京開成館 代表者 渡邊良助  
 西部販賣所 大京市東區北久寶寺町心齋橋筋角 三木佐助  
 東部販賣所 東京市日本橋區數寄屋町九番地 林平次郎

(印刷所造製版活地築京東社會式株)









広島大学図書

2000301542



庫  
20  
542